

# 千歳市の教育 2009



姉妹都市アメリカ・アンカレジ市サンドレイク小学校来校歓迎集会 (2009. 6. 24/千歳小学校体育館)

千歳市教育委員会

## 目 次

I	千歳市の概況	1
II	教育計画	
1	新長期総合計画	3
2	社会教育長期計画	7
III	教育目標	12
IV	教育行財政	
[1]	教育行政	
1	教育委員会委員	13
2	歴代教育委員会委員	14
3	教育行政の沿革	15
4	市内小中学校の変遷	19
5	教育委員会組織と事務分掌	23
[2]	教育財政	
1	教育予算	24
2	平成21年度主要事業予算	25
V	学校教育	
[1]	学校教育の主な施策	26
[2]	児童生徒数の推移	28
[3]	学校の概要	
1	小学校	29
2	中学校	38
3	幼稚園	43
4	高等学校	44
5	大学・各種学校	45
[4]	就学の助成	
1	就学援助	46
2	特別支援教育助成	48
3	奨学金制度	50
4	私立幼稚園助成	51
[5]	学校保健	
1	児童生徒の体位	52
2	災害共済給付	53
[6]	学校給食	54
[7]	生徒指導	56

## VI 社会教育

〔1〕生涯学習の主な施策	58
〔2〕社会教育の主な施策	59
〔3〕社会教育委員・公民館運営審議会委員	60
〔4〕社会教育の対象	60
〔5〕社会教育事業	61
〔6〕文化財	63
〔7〕社会教育施設	70
1 千歳市立図書館	70
2 千歳公民館	72
3 千歳市民文化センター	74
4 千歳市民ギャラリー	77
5 千歳市民活動交流センター	79
6 千歳市青少年会館	80
〔8〕財団法人千歳青少年教育財団	81

## VII 社会体育

〔1〕社会体育事業	85
〔2〕学校開放事業	86
〔3〕社会体育施設	
1 千歳市温水プール	87
2 千歳市スポーツセンター	89
3 千歳市開基記念総合武道館	90
4 その他の社会体育施設	91

## VIII 教育委員会会議

教育委員会会議	93
---------	----



## 千歳市章 (昭和27年5月1日制定)

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿をえがいています。

# I 千歳市の概況

## 1 位置及び地勢

千歳市は、北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、札幌、苫小牧、恵庭、伊達の4市と、由仁、長沼、白老、安平の4町に隣接しています。

市域は東西に長く西高東低の地形になっており、西部は国立公園支笏湖や溶岩円頂丘をもつ樽前山、札幌冬季オリンピック滑降コースとなった恵庭岳などの山岳地帯、中央部はほぼ平坦地で、市街地をはじめ工業団地、飛行場、自衛隊駐屯地、農用地などに利用され、東部は丘陵地帯で農林業に活用されています。

千歳市の位置					
方位	町名	経緯度			
極東	東丘	東経	141°	52′	25″
極西	美笛	東経	141°	10′	30″
極南	美笛	北緯	42°	40′	44″
極北	新川	北緯	42°	57′	3″

### 千歳市本庁舎事務棟中央部の位置

東経 141° 39′ 17″ 北緯 42° 49′ 9″

**広がり** 東西 57.20km 南北 30.40km

**面積** 594.95 k m<sup>2</sup>

## 2 気候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点に位置しています。夏季の最高気温は30度程度、年間の平均気温は6度から8度で、内陸型のしのぎやすい気候となっています。年間降水量は900mmから1,000mm程度で降雪量も道内では少ない地域です。風向は一年間をとおして南北に一定しているため、国内のほかの空港が横風用滑走路を必要とするのに対して、千歳の空港は日本で唯一、平行の滑走路となっています。

### 3 人口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治13年。当時は、約100世帯400人余の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5千人前後の寒村でした。

昭和14年に海軍の航空隊基地の完成により人口が1万人を超え、以来戦後の米オクラホマ州兵師団駐留やその後の自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和33年7月1日北海道第17位の人口で道内24番目の市となりました。

昭和40年第10回国勢調査では51,243人、昭和50年第12回国勢調査では61,031人と、企業誘致や空港機能の充実により人口は伸び続け、昭和60年第14回国勢調査では73,610人、平成7年第16回国勢調査では、30,071世帯、人口84,866人、平成12年第17回国勢調査では、33,532世帯、人口88,897人、平成17年第18回国勢調査では、35,973世帯、人口91,437人に達し、道央の中核都市として順調に発展し続けています。

平成21年4月1日現在の千歳市の人口・世帯	
男	47,103人
女	45,290人
総人口	92,393人
世帯数	43,320世帯

(住民基本台帳)

### 4 地名の由来

「千歳」の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きなくぼ地、または谷」という意味で、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る、自然にあふれた大地でした。

シコツには、太平洋と日本海を結ぶルート of シコツ越えがあり、万治元年(1658年)に現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるほどに、人の往来が多い地でした。

文化2年(1805年)、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に、新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから「鶴は千年、亀は万年」の故事から『千歳』と命名しました。

#### 千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。  
千歳川の 清い流れ。  
開拓 ここに一世紀。  
私たちは、誇りある千歳市民です。  
郷土の発展と、お互いのしあわせを  
願い、この憲章をかかげて、力強く  
前進をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、  
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、  
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、  
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、  
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、  
豊かな おちついた まちにしましょう。

(昭和54年7月1日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」を  
イメージする市民権肖像

(平成3年7月20日建)

## Ⅱ 教育計画

### Ⅱ-1 新長期総合計画 抜粋 『学びあい心ふれあう都市づくり』

#### 1 人の魅力でまちが輝く生涯学習都市

##### (1) 生涯学習のまちづくり

###### ① 市民の主体的な学習活動の支援

市民の生涯学習への参加意識や関心を高めていくとともに、市民の主体的な学習活動を支援するための条件整備や学習機会の総合調整、市民・企業・行政の連携・協働体制の確立などを進め、総合的な生涯学習の支援システムの構築を図ります。

###### ② 多様な市民活動のネットワークづくり

生涯学習活動やボランティア活動、NPO活動など市民団体による各種活動へのハード・ソフト両面からの支援を進め、市民が主体となり相互に交流・連携した市民活動のネットワークづくりを促進します。

###### ③ 人材の育成と活用

地域における人材の発掘を進めるとともに、まちづくりに対する自主性を持った市民の育成や活用に努めます。また、生涯学習の観点に立った職員研修や育成プログラムの開発に努めます。

###### ④ 学校・社会教育の充実

生涯学習の基礎となる学校教育活動の充実を図るとともに、地域に根ざした生涯学習のため学校開放の推進に努めます。また、生涯各期に応じた学習機会などの拡充を図るとともに、学習の成果が活用できる環境づくりに努めます。

#### 2 豊かな心と人間性を育む教育文化都市

##### (1) 幼稚園教育の振興

###### ① 教育機会の充実

幼児期は人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、就園を希望する幼児が適切な教育を受けられるよう地域の実態に応じた幼稚園教育の機会の拡充に努めます。

###### ② 幼稚園教育の充実

関係機関の連携や教職員の資質向上、ゆとりある教育環境の整備などにより、幼稚園の教育内容の充実を促します。

###### ③ 幼稚園・小学校の連携の推進

幼児の連続的な成長と健全な育成を図るため、幼稚園と小学校の連携を推進し教育機能の相互理解や交流の機会を充実します。

##### (2) 小中学校教育の充実

###### ① 教育機会の拡充

児童生徒の良好な教育環境を確保するため学校規模の適正化を推進します。また、小規模校における教育内容の充実や、就学困難な児童生徒に対する就学支援など教育機会の拡充に努めます。

###### ② 開かれた学校づくりの推進

学校教育と社会教育の融合化に努めるとともに、地域教育資源の活用など、地域に開かれ地域と一体となった学校運営を推進します。

### ③ 教育活動の充実

国際化・情報化・高齢化・価値観の多様化など社会の変化に対応した教育や児童生徒の心を育む教育を充実するほか、地域の特性と各学校の創意・工夫を生かした特色ある教育活動や環境教育などを推進します。また、一貫した学習指導や生活指導などを行うため、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校における連携強化に努めます。

### ④ 快適な学校施設などの整備、充実

社会の変化に対応した学習活動を推進するための学校施設・設備などの整備を図るとともに、特色ある学校づくり、ゆとりと潤いのある学習環境づくりを推進します。

### ⑤ 教職員の研修・福利厚生の充実

小中学校における実践的指導力の強化を図るため、教職員の研修の充実に努めるとともに、健康管理など福利厚生 of 充実を図ります。

## (3) 保健・体育の充実

### ① 保健・体育の充実

生涯にわたり運動に親しめるよう学校体育の充実に努めるとともに、児童生徒の健康と安全を確保するため学校保健や安全教育を充実します。

### ② 学校給食の充実

給食センターの衛生管理体制の強化や施設・設備の整備を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食指導を推進します。

## (4) 特殊教育の充実

### ① 教育機会の拡充

児童生徒の障害の程度に応じた教育機会の拡充と適正就学指導を進めるとともに、就学に向けた支援の充実に努めます。

### ② 教育活動の充実

訪問教育・交流教育・体験学習など障害の程度に応じた多様な教育活動を推進するとともに、進路指導を充実し社会的な自立を促します。

### ③ 学校施設・設備などの整備

障害のある児童生徒に配慮した施設・設備の整備など特殊教育の学習環境の整備を進めます。

### ④ 理解・啓発活動の推進

特殊教育や障害のある児童生徒に対する理解と認識を深めるための啓発活動を推進します。

## (5) 高等学校教育の充実

### ① 教育機会の拡充

就学対象生徒数の動向を見据え、高等学校の適正配置や入学定員の拡大などにより市内における高等学校の教育機会の確保に努めます。

### ② 時代や地域ニーズに応える教育の促進

学科や教育内容の充実などを促し、時代や地域ニーズに対応した高等学校教育の促進に努めます。

## (6) 高等教育の充実

### ① 大学・試験研究機関の整備

千歳科学技術大学の整備拡充と教育機能・学術研究機能の充実を促進します。

### ② 多様な高等教育機会の確保

各種専門教育機関の育成や誘致など、多様な高等教育機会の確保に努めます。

## **(7) 社会教育の充実**

### **① 学習機会の充実**

生涯各期のライフスタイルに応じた学習機会の充実や家庭や学校、地域が一体となって生活課題・地域的な課題へ主体的かつ積極的な参画を促すなど、学習機会の提供を通じて生涯学習社会の実現に努めます。

### **② 学習支援体制の充実**

学習活動を行う団体・グループなどの育成に努めるほか、生涯学習推進体制の確立や指導者など人材の育成・確保を図り、市民の主体的な学習活動を支援します。

### **③ 社会教育施設の整備・充実**

市民が利用しやすい学習施設の整備や効果的な学校開放を推進し学習の場を確保するとともに、利用者に対する利便性の向上や各施設の有効利用を図るため、各施設間のネットワーク化を進めます。

### **④ 心を育てる家庭教育の充実**

さまざまな学習機会や情報提供を通じて健全な家庭づくりと親の教育力の向上を促し、人間形成の基礎的な役割を果たす家庭教育機能の強化に努めます。

### **⑤ 公民館機能の充実**

市民生活の向上に結びつく公民館活動を推進するため、多様化する学習ニーズや地域的な課題に対応する生涯各期における学習機会の拡大と学習内容の充実を図ります。

### **⑥ 図書館機能の充実**

市民のニーズにあった情報を的確かつリアルタイムに提供していくため、生活情報や学習情報などの図書資料の拡充、郷土文献資料などの収集・公開の充実を図るとともに、情報提供システムや移動図書館の充実により、図書サービス利用の地域間格差の解消に努めます。

## **(8) 市民文化の創造**

### **① 文化活動に親しむ機会の拡充**

市民がゆとりとうるおいのある心豊かな生活を営むため、既存の文化施設と事業の充実を図り、市民が多様な芸術文化活動に親しみ、楽しむことができる機会の拡充に努めます。

### **② 芸術文化活動の促進**

市民による自主的な芸術文化活動を促進するため、創作活動や発表の場の提供などにより芸術文化関係団体・サークル等の活性化に努めるとともに、市民の芸術文化活動をリードする人材の育成など市民文化を担う人づくりを進めます。

### **③ 特色ある文化活動の推進**

千歳市の都市特性における人材や自然、歴史などの風土を生かした特色ある芸術文化活動を育み「千歳らしい」文化の創造をめざします。

## **(9) 文化財の保護と活用**

### **① ふるさと風土とのふれあいの推進**

市民がふるさとに誇りを持ち心豊かに過ごせるよう、市民自らが地域の自然や歴史、文化とふれあえる場や機会を充実するとともに、地域の風土を生かした個性あるまちづくりを進めます。

### **② 埋蔵文化財の保護と活用**

埋蔵文化財と各種開発事業の調和に努めるとともに、埋蔵文化財の適切な保護とその活用を図るため、発掘調査や各種研究事業を推進するほか保存管理および公開・展示の促進に努めます。



### ③ 伝統文化の保存と継承

アイヌ文化をはじめ、先人が築き伝えてきた伝統文化を市民生活のなかで保存・継承していくため、市民に対する理解・啓発に努めながら伝統文化の保護保存・調査研究・公開活用を進めます。

## (10) スポーツの振興

### ① 生涯スポーツの推進

スポーツが持つ達成感や楽しさを多くの人々と共有できる生涯スポーツの推進をめざし、健康や安全に関する市民意識を啓発するとともに、地域における各種スポーツ活動組織の育成を図ります。また、多様化・高度化するスポーツニーズに対応するため、広域的視野に立ったスポーツの振興に努めます。

### ② スポーツ指導体制の充実

多様化する市民のニーズに応えながら生涯スポーツを振興していくため、豊かで活力のあるスポーツ活動を支援する相談・指導体制の充実を図るとともに、新たなスポーツ開発・振興に努めます。

### ③ スポーツ施設の整備

市民の日常的なスポーツ活動を促進していくため、それぞれの年齢や体力に応じて、いつでも・どこでも・だれでもがスポーツに親しむことができる多様な施設の整備を推進するとともに、施設運営の弾力化や施設間のネットワーク化など各種施設の利便性の向上に努めます。

## (11) 青少年の健全な育成

### ① 青少年健全育成活動の推進

家庭や学校、地域が一体となって青少年の健全育成活動を推進するとともに、青少年団体などの育成や地域活動への参加の促進、活動の場の整備などに努めます。

### ② 青少年を取り巻く社会環境の整備

家庭や学校における青少年への指導、地域住民による青少年健全育成の観点から、地域が一体となり青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を推進します。

### ③ 青少年の非行防止と指導体制の充実

青少年指導センターの充実や指導者の育成を図るとともに、関係機関・団体などの連携のもと、青少年の非行防止のための相談・指導体制を充実します。

### ④ 自然環境を生かした体験活動の推進

青少年活動の拠点として、(財)千歳青少年教育財団との連携協力を通じて、自然教育力を生かした野外活動プログラムの開発や多様な体験活動機会の充実を図るとともに教員との人的交流など学社融合を促進します。

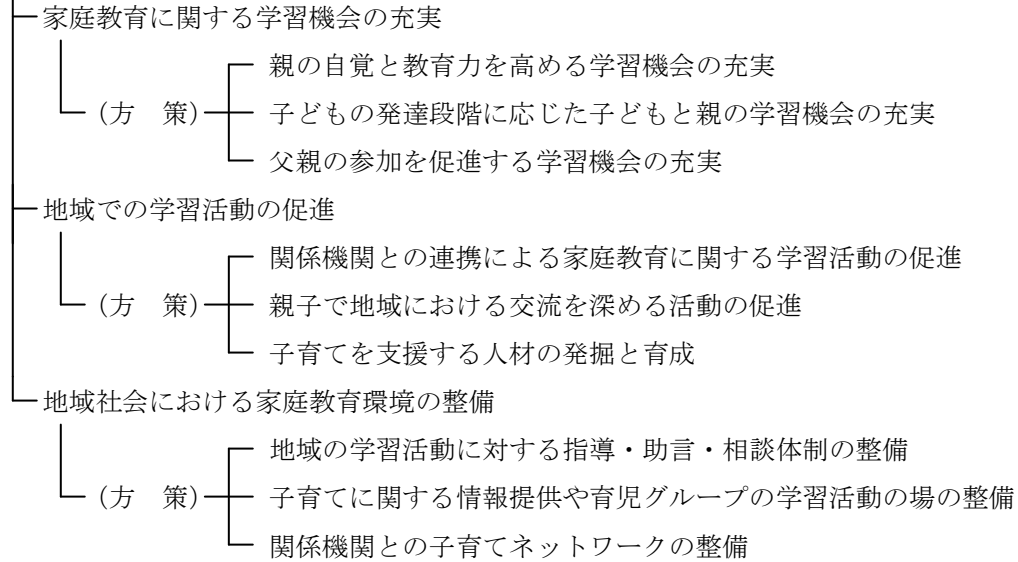
## Ⅱ-2 社会教育長期計画（千歳市第3期社会教育長期計画から抜粋）

### 基本目標 『 学び ふれあい 個性を培い 世紀を拓く創造性を育む 』

#### 1 推進目標(家庭教育・青少年教育分野)「豊かな心、生きる力を育む」

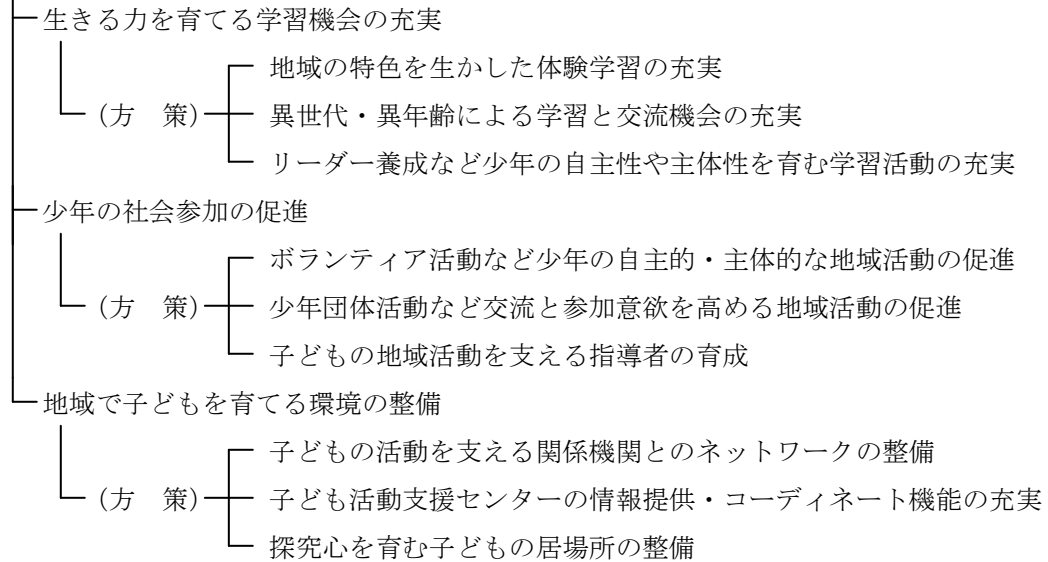
##### (1) 子育て領域重点目標

###### 心身豊かな子どもの成長を育む家庭・地域の教育力の向上を推進する



##### (2) 子ども領域重点目標

###### 豊かな心を育む少年の主体性・創造性を養う



### (3) 青年領域重点目標

#### 明日の地域を担うたくましい青年を育成する

- 次代を担う青年の学習機会の充実
  - (方 策) 郷土愛を育む学習機会の充実
  - (方 策) 社会の変化に対応した資質を育む学習機会の充実
  - (方 策) 職業観や勤労観を育む学習機会の充実
- 社会参加の意欲を高める青年活動の促進
  - (方 策) ボランティア活動など青年の活力を生かした地域活動の促進
  - (方 策) 青年の世代や地域を越えた交流活動の促進
- 青年の自発性を育む学習環境の整備
  - (方 策) 青年活動の情報提供とコーディネート機能の整備
  - (方 策) 青年の実態に合わせた学習と交流の場の整備

## 2 推進目標(成人教育分野)「市民の学習機会や社会参加の意欲を支える」

### (1) 成人一般領域重点目標

#### 現代的課題に対応する学習機会の拡充と豊かな地域づくり

- 学習の成果が活用できる学習機会の充実
  - (方 策) 現代的課題に対応する専門的な学習機会の充実
  - (方 策) 地域課題に対処する実践的学習活動の充実
  - (方 策) 市民力を育む多様な学習機会の充実
- 豊かな地域づくりをめざす学習活動の促進
  - (方 策) 郷土愛と協働の輪を広げる学習活動の促進
  - (方 策) 市民の創意・工夫を生かした学習活動の促進
  - (方 策) 学習の成果を地域社会に生かす社会参加活動の促進
- 学ぶ意欲を高める学習環境の整備
  - (方 策) 学習活動を支援するコーディネート機能の整備
  - (方 策) 総合的な学習情報の収集・提供体制の整備
  - (方 策) 学習のネットワークと市民の学習活動の場の充実

### (2) 女性領域重点目標

#### 地域や生活課題の解決を図るための自らの社会参加を進める

- 女性の社会参加を促進する学習機会の充実
  - (方 策) 女性のエンパワーメントを育む学習機会の充実
  - (方 策) 男女平等の意識を高める家庭教育支援の充実
  - (方 策) 男女平等と男女共同参画の意識を育む学習機会の充実
- 参加と交流を広げる女性活動の促進
  - (方 策) 世代を越えた参加と交流の促進と新しい時代を担うリーダーの育成
  - (方 策) 女性のエンパワーメントを生かしたボランティア活動の促進
- 男女がともに社会に参画する学習環境の整備
  - (方 策) 女性の社会参加を支援するネットワークの整備
  - (方 策) 男女がともに社会参画するための情報提供・相談体制の整備

### (3) 高齢者領域重点目標

#### 高齢者の生きがいづくりと積極的な社会参加を促進する

- 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
  - └ (方 策) — 生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
  - └ 多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
  - └ (方 策) — 高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
  - └ 地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
  - └ (方 策) — 高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
  - └ 地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

### 3 推進目標(学習環境分野)「学びあえる環境づくりを推進する」

#### (1) 公民館領域重点目標

#### 生涯いつでもどこでも学習できる環境を整備・充実する

- 市民の自治能力を高める学習機会の充実
  - └ (方 策) — 学習要求や公共の役割を意識した教室の充実
  - └ いつでもどこでも学べる学習活動の充実
- 市民の自主的・創造的な学習活動の促進
  - └ (方 策) — 自主的なサークル活動の支援と学習の場の提供
  - └ 学習成果の活用場の提供
- 市民の学習活動を支える学習環境の整備
  - └ (方 策) — 地域の学習活動を支える指導者の育成
  - └ 関係機関とのネットワーク化とコーディネート機能の充実

#### (2) 図書館領域重点目標

#### 図書館サービスネットワークの形成と地域情報拠点機能の整備を推進する

- 読書意欲を高める図書館機能の全域サービス化の充実
  - └ (方 策) — 図書館分館機能の充実
  - └ 図書の検索・閲覧システムの充実
  - └ 移動図書館機能の充実
- 市民の自主的な図書館活動の促進
  - └ (方 策) — 子ども読書活動の推進
  - └ 生活や郷土に関する専門図書や文献資料の収集と公開展示の促進
  - └ 学校図書館や市民団体による図書館活動の促進
- 図書館情報システムの整備
  - └ (方 策) — CD-ROMなどが活用できる情報網と図書資料の電子化の整備
  - └ 職員の専門性の確保・向上による情報活用やレファレンス機能の整備

### (3) 市民文化センター・市民ギャラリー領域重点目標

#### 市民の創造的な文化活動を推進する学習環境を整備する

- 優れた文化芸術に接する機会の充実
  - └ (方 策) — 優れた文化芸術に接する自主文化事業の充実
  - └ 各種展覧会など鑑賞機会の充実
- 市民の自主的・創造的な文化活動の促進
  - └ (方 策) — 市民の主体的な創作・発表活動の促進
  - └ 世代や地域を越えた文化芸術交流の促進
- 地域の特色を生かした文化活動の支援体制の整備
  - └ (方 策) — 文化活動の情報提供・相談体制の整備
  - └ 情報機器などを活用した学習を支援する環境の整備

## 4 推進目標(文化分野)「個性豊かな芸術文化の創造と文化財の保護・活用を推進する」

### (1) 文化領域重点目標

#### 文化意識と郷土の理解を深め、地域に根ざした文化を創造する

- 新しい文化を受け入れ育てる文化芸術活動の促進
  - └ (方 策) — 広域的な文化交流の促進
  - └ ジャンルを越えた交流の促進
  - └ 青少年の文化芸術活動の充実と学校教育などとの連携の促進
- 地域文化を大切にす文化芸術活動の支援
  - └ (方 策) — 郷土の理解を深め、認め合う文化芸術活動の充実
  - └ 世代間交流による文化伝承活動の促進
  - └ 地域文化活動への参加促進と人材の発掘・担い手の育成
- 文化環境の整備
  - └ (方 策) — 文化芸術活動の支援体制の整備
  - └ 文化芸術にふれあう場の充実
  - └ 地域の文化芸術の振興に関わる基盤の整備

### (2) 文化財領域重点目標

#### 市民が郷土の豊かな個性とふれあいができる文化財を整備する

- 千歳らしさを知る文化財とふれあう環境の充実
  - └ (方 策) — 郷土資料館の整備と資料収集の充実
  - └ 文化財とふれあう学習機会の充実
  - └ 史跡の整備と活用の促進
- 伝統文化の保存・継承の促進
  - └ (方 策) — 伝統文化の保存・継承と学習活動の促進
- 埋蔵文化財の保護・整備
  - └ (方 策) — 埋蔵文化財の保存と活用
  - └ 埋蔵文化財の調査研究と適切な保存管理を推進する施設の整備

## 5 推進目標(スポーツ振興分野)「市民のだれもが親しめる生涯スポーツを支える」

### (1) スポーツ振興領域重点目標

達成感や楽しさを多くの市民と共有し、活力ある地域の形成と生涯にわたって豊かな生活を営むことのできる生涯スポーツを推進する

- スポーツ・レクリエーション活動の充実
  - └ (方 策) — 社会の変化や市民のライフステージに対応したスポーツの参加機会の創出
  - └ 日常生活や地域と結びついたスポーツ・レクリエーション活動の促進
- スポーツ活動の指導体制の確立と地域スポーツ団体の育成
  - └ (方 策) — スポーツ指導者の養成・確保と適正配置の促進
  - └ 地域における各種スポーツ団体・指導者の育成支援と連携
- スポーツに関する事業の実施
  - └ (方 策) — 各種スポーツ情報の収集・提供体制の充実
  - └ スポーツで優秀な成績や功績があった個人・団体への顕彰

### (2) 温水プール領域重点目標

市民の体づくり・健康増進環境の形成と幅広い世代の交流の場を充実する

- する水泳の普及の充実
  - └ (方 策) — 初心者利用の拡大と自主事業の積極的な展開による、する水泳の充実
  - └ 体づくり・健康増進を行う水泳愛好者の支援の充実
- 環境の整備
  - └ (方 策) — 民間への管理委託による管理体制の整備
  - └ 家族連れで楽しむことのできる環境づくり

### (3) 社会体育施設領域重点目標

いつでも、どこでも、だれもが自分の技量に応じてスポーツを楽しめる体育施設を整備する

- 社会変化と市民ニーズに対応した体育施設の整備・充実
  - └ (方 策) — 市民ニーズに対応した計画的な施設の整備
  - └ 新規施設と老朽化施設の整備
  - └ 学校施設開放の推進
- 体育施設の運営の充実
  - └ (方 策) — 指定管理者による施設運営の促進
  - └ 施設機能の有効活用の促進

## Ⅲ 教育目標

### 平成21年度教育推進の重点

地域とともに、新時代を切り拓く豊かな教養と生きる力、思いやりの心をもった人間の育成

### 主な施策

#### 学校教育の主な施策

- 1 生きる力の基礎となる学力
- 2 特色ある教育活動の推進
- 3 豊かな人間性や社会性を育む道徳教育の充実
- 4 健やかな心身を育む健康・安全教育の推進
- 5 特別支援教育推進体制の充実
- 6 信頼される教職員の育成と学校環境の整備
- 7 教育機会の拡充

#### 生涯学習の主な施策

- 1 市民活動交流センター「ミナクル」の運営推進
- 2 ひと・まちづくりリーダーの養成

#### 社会教育の主な施策

- 1 第4期社会教育長期計画の策定
- 2 豊かな心と生きる力を育む家庭教育・青少年教育の充実
- 3 市民の学習機会の充実
- 4 市民が学びあえる環境づくりの推進
- 5 個性豊かな芸術文化の創造と文化財の保護と活用の推進
- 6 健康で活力あふれた生涯スポーツの推進と施設整備の充実

## IV 教育行財政

### 〔1〕 教育行政

#### 1 教育委員会委員

委員長                      山田 律子              平成17年10月1日就任

委員長職務代理者      佐々木 義朗              平成18年10月1日就任

委員                        阿部 弓枝              平成19年10月1日就任

委員                        明石 光正              平成20年10月1日就任

教育長                      小林 義知              平成13年10月1日就任



明石委員    阿部委員    佐々木委員  
小林教育長      山田委員長



## 2 歴代教育委員会委員

委員長 (任命年月日)	委員 (任命年月日)	委員 (任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.7 河野 有三 46.10.1 島倉 充平 60.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 山田 律子 17.10.1 (在職中)	内村 ナツ 31.10.1 32.10.1 36.10.1 40.9.28 鎌倉 末吉 43.10.1 44.10.1 (46.4.7まで) 河野 有三 46.4.30 48.10.1 52.10.1 56.10.1 島倉 充平 60.10.1 元 10.1 5.10.1 伊藤 博邦 9.10.1 13.10.1 山田 律子 17.10.1 (在職中)	信田 信太郎 31.10.1 33.10.1 (34.5.13まで) 34.5.25 37.10.1 阿部 忠彦 41.10.1 高塚 興正 45.10.1 49.10.1 53.11.1 57.10.1 61.10.1 佐藤 嘉彦 2.10.1 (6.8.21まで) 三ツ野 仁 7.10.1 10.10.1 14.10.1 佐々木 義朗 18.10.1 (在職中)
委員 (任命年月日)	委員 (任命年月日)	教育長 (任命年月日)
五十嵐 直蔵 31.10.1 岸本 貞一 34.6.1 34.10.1 38.10.2 42.10.1 矢野 和子 46.10.1 50.10.1 54.10.1 寺山 恵美子 58.10.1 62.10.1 3.10.1 橋爪 光子 7.10.1 11.10.1 15.10.1 阿部 弓枝 19.10.1 (在職中)	高橋 三次郎 31.10.1 (34.5.13まで) 若木 キサ 34.7.3 35.10.1 (36.3まで) 鈴木 清子 36.3.31 39.10.1 藤本 敬一 43.10.1 47.10.1 51.10.1 信田 茂 55.10.1 59.10.1 63.10.1 今 清 4.10.1 8.10.1 竹嶋 勝利 12.10.1 16.10.1 明石 光正 20.10.1 (在職中)	菅原 恵一 31.10.1 (34.3.13まで) 半田 景明 34.6.16 35.10.1 39.10.1 43.10.1 47.10.1 (50.3.20まで) 宮澤 一成 50.6.1 51.10.1 55.10.1 59.10.1 佐藤 利雄 63.10.1 4.10.1 工藤 文夫 8.10.1 12.10.1 (13.9.30まで) 小林 義知 13.10.1 16.10.1 20.10.1 (在職中)

### 3 教育行政の沿革

#### (1) 沿革

年 月	主 な で き ご と
明治 12 (1879) 年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める (現千歳小学校)
" 13 (1880) 年 3月	千歳村に戸長を置き事務を行う (戸長役場開庁)
4月	千歳教育所創設
" 22 (1889) 年 4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
" 28 (1895) 年 3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる (現在地に校舎新築)
" 32 (1899) 年 9月	長都に私立教育所設置 (現長都小学校)
" 33 (1900) 年 6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置 (現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置 (泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置 (幌加小学校の前身)
" 34 (1901) 年 6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
" 35 (1902) 年 4月	近唐教育所設置 (協和小学校の前身)
" 39 (1906) 年 9月	木臼簡易教育所設置 (中央小学校の前身)
大正 元 (1911) 年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
" 4 (1915) 年 4月	烏柵舞特別教授所設置 (水明小学校の前身)
" 5 (1916) 年10月	二級町村制施行 (烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
" 6 (1917) 年 4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
" 7 (1918) 年 6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校 (東丘小学校の前身)
大正 9 (1920) 年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
" 12 (1923) 年 4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置 (現千歳第二小学校)
" 13 (1924) 年 4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
" 15 (1926) 年 4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
" 15 (1926) 年 5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和 6 (1931) 年 4月	釜加特別教授場設置
" 7 (1932) 年	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
" 11 (1936) 年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
" 12 (1937) 年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉦山特別教授所設置
" 14 (1939) 年 4月	千歳鉦山特別教授所が千歳鉦山尋常高等小学校となる
" 15 (1940) 年 6月	一級町村制施行
" 16 (1941) 年 4月	長都尋常小学校に高等科併置
" 17 (1942) 年 5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
" 21 (1946) 年 4月	町制施行 (人口 13,994 人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
" 22 (1947) 年 4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正 (学校六・三制発足) により校名変更
6月	長都、千歳鉦山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置 (長都、千歳鉦山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置 (中央中学校の前身)
" 23 (1948) 年 6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校 (小学校に併置、東千歳中学校の前身)
" 24 (1949) 年 1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置 (現支笏湖小学校)
4月	千歳第三小学校開校
" 25 (1950) 年 3月	道立野幌高等学校千歳分校設置
4月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
12月	千歳中学校烏柵舞分校設置 (小学校に併置、水明中学校の前身)
" 26 (1951) 年 3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が洞立千歳高等学校となる
12月	千歳中学校鉦山分校が千歳鉦山中学校となる
" 27 (1952) 年 4月	千歳中学校阿宇砂里分校設置 (小学校に併置、現駒里中学校)
4月	千歳中学校が東雲町 4 丁目から栄町 4 丁目に移転
10月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる
11月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
" 28 (1953) 年 5月	幌加中学校が東千歳中学校となる
" 29 (1954) 年 4月	千歳町教育委員会委員選挙執行
	千歳町教育委員会発足
	北栄小学校開校
	千歳町立千歳高等学校道立移管
	千歳公民館開館

年 月	主 な 出 来 事
昭和29 (1954) 年 5月	千歳町体育協会発足
" 30 (1955) 年 4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
" 31 (1956) 年 1月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	<b>末広小学校開校</b>
" 32 (1957) 年 4月	<b>緑小学校開校</b>
8月	<b>青葉中学校開校</b>
" 33 (1958) 年 7月	市制施行(人口 48,443 人)
" 34 (1959) 年 4月	<b>水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)</b>
11月	キウスのチャシ重要文化財の指定を受ける
" 35 (1960) 年 5月	<b>千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和 46 年に北進小学校に分離独立)</b>
" 37 (1962) 年 4月	<b>千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和 46 年に北進中学校に分離独立)</b>
10月	市民会館開館
" 39 (1964) 年 3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合 水明中学校藤の沢分校を本校に統合
4月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
9月	ウサクマイ遺跡発掘調査
10月	学校給食センター開設
" 40 (1965) 年10月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
" 41 (1966) 年 3月	水明中学校を千歳中学校に統合
4月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
" 42 (1967) 年 1月	<b>日の出小学校開校</b>
3月	藤の沢小学校廃校
青少年健全育成都市宣言	
昭和 43 (1968) 年 3月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
4月	<b>信濃小学校開校</b>
7月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
" 44 (1969) 年 8月	千歳市開基 90 周年記念式典
12月	青少年会館開館
" 45 (1970) 年 4月	支笏湖青少年研修センター開設
6月	<b>高台小学校開校</b>
12月	スポーツ都市宣言
" 46 (1971) 年 1月	東千歳地区スクールバス運行開始
4月	<b>幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校</b>
9月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
" 47 (1972) 年 1月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
3月	<b>真町中学校開校</b>
9月	中央中学校を真町中学校に統合
" 48 (1973) 年 1月	北進小学校に言語治療教室開設
4月	青葉中学校が根志越(現在地、豊里)に移転
5月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
" 49 (1974) 年 3月	北栄小学校に情緒障害児学級開設
4月	末広小学校が富丘(現在地)に移転
10月	学校給食センターが上長都に移転
11月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
" 50 (1975) 年 4月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
6月	人口 6 万人突破(人口 60,200 人)
8月	<b>富丘中学校開校</b>
12月	支笏湖自然の村開村
" 51 (1976) 年 4月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
4月	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
千歳市青少年指標制定	
千歳中学校に言語治療教室開設	
<b>祝梅小学校開校</b>	
教育委員会事務局市庁舎に移転	
市立図書館開館	
" 52 (1977) 年 4月	「美々貝塚」「馬通看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定
" 53 (1978) 年 3月	千歳鉱山小学校、千歳鉱山中学校開校
4月	蘭越小学校を緑小学校に統合
<b>桜木小学校開校</b>	
北進中学校に情緒障害児学級開設	
6月	総合スポーツセンター完成
10月	千歳小学校開校百年記念式典
12月	「動物形土製品」千歳市文化財指定
	泉沢市民スキー場開設

年 月	主 な 出 来 事
昭和 54 (1979) 年 5月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
6月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
7月	千歳市民憲章制定
8月	千歳市開基百年記念式典
10月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
「泉郷獅子舞」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定	
〃 55 (1980) 年 7月	「蕨手刀」千歳市文化財指定
〃 57 (1982) 年 2月	(財)千歳青少年教育財団設立
4月	<b>向陽台小学校開校</b>
〃 58 (1983) 年 2月	人口7万人突破（人口70,051人）
3月	北進小学校に情緒障害児学級開設
11月	北海道都市教育長会開催
〃 59 (1984) 年 4月	市民文化センター開館
北斗中学校開校	
〃 60 (1985) 年 8月	第16回全国中学校選抜卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
〃 61 (1986) 年 4月	千歳小学校に肢体不自由児学級開設
7月	青空運動公園（アスファルトリンク）完成
〃 62 (1987) 年 4月	<b>向陽台中学校開校</b>
5月	千歳市民球場完成
〃 63 (1988) 年 2月	市立図書館新築移転（青葉公園内）
4月	通学区域変更（末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ）
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成 元 年(1989)年 4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
9月	千歳中学校に肢体不自由児学級開設
10月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
11月	千歳市開基110周年記念式典
〃 2年(1990)年 8月	青空公園ふれあいセンター完成
12月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
〃 3年(1991)年 9月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
10月	障害児教育相談員設置
〃 4年(1992)年 9月	人口8万人突破
〃 5年(1993)年 3月	学校週5日制開始
(財)千歳市体育協会設立	
開基記念総合武道館完成	
中央小学校を千歳小学校に統合	
5月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財（無形民俗文化財）指定
8月	学校給食センターが祝梅に移転
〃 6年(1994)年 4月	<b>北陽小学校開校（千歳小の肢体不自由児学級を北陽小に移設）</b>
8月	第24回全国中学校選抜剣道大会開催
9月	千歳サケのふるさと館開館
〃 7年(1995)年 4月	市民ギャラリー開館
5月	駒里水泳プール完成
8月	第39回北海道学校給食研究大会開催
〃 8年(1996)年 5月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
9月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会（東北・北海道合同）石狩大会開催
〃 9年(1997)年 4月	<b>泉沢小学校開校</b>
6月	適応指導教室「おあしす」開設
〃 10年(1998)年 4月	千歳高校全日制普通科が1学級増
向陽台小学校に情緒・知的障害児学級開設	
7月	千歳市温水プール完成
10月	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
第38回北海道社会教育研究大会開催	
〃 11年(1999)年 1月	北陽小学校校舎増築
3月	千歳第二小学校校舎増築
4月	千歳高校に学科を新設（国際教養科・国際流通科）
8月	全道中学校卓球大会開催
11月	千歳高校創立50周年記念事業実施
〃 12年(2000)年 9月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
〃 13年(2001)年 4月	学校評議員設置
11月	長都小学校開校100周年記念式典
〃 14年(2002)年 2月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
4月	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
7月	人口9万人突破
〃 15年(2003)年 3月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館

年 月	主 な 出 来 事
平成15年(2003)年 4月	北栄小学校に知的障害学級、向陽台小学校に難聴学級、千歳中学校に情緒・知的障害学級開設
6月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
" 17年(2005)年 3月	長都小中学校閉校
	支笏湖青少年研修センター閉所
6月	「北海道美々8 遺跡出土品 (1,164 点)」国の重要文化財に指定
10月	千歳市の教育を考える市民会議設置
" 18年(2006)年 4月	国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ
	千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始
	市民文化センターがリニューアルオープン
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクル」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
" 19年(2007)年 2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築
	青葉中学校開校50周年記念式典
12月	緑小学校開校50周年記念式典
	桜木小学校開校30周年記念式典
" 20年(2008)年 5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖の開催記念事業として市内小中学生約4,000人が参加し、環境をテーマとした「ちとせつこ未来フォーラム」を開催し、中学生代表がインターネットを通して世界へ向けて環境メッセージを発信

## (2) 教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日教育委員会法が制定され、教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、都道府県と五大都市は昭和23年10月15日に選挙が行われ、他の市町村は昭和27年11月1日までに設置することにし、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれた。任期は4年であるが、最初の選挙は上位2人は4年、次の2人は2年委員で、2年ごとに半数の人を選挙するという規定であった。

当市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今 与自郎、市村 政五郎、2年任期の委員に中川 要助、野沢 栄三郎が選ばれ、町議会選出の吉田 信一の5人でスタートした。

11月1日第1回教育委員会が開催され委員長に今 与自郎、副委員長に中川 要助を選出している。そのほか、教育長として町教育民生課長谷口 好忠を任命し、教育委員会会議規則、教育委員会事務局組織規程等を審議し決定している。

発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う教室不足の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになった。

昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長佐藤 勝蔵が招かれて教育長に就任した。

昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年延長された。この年、野沢 栄三郎委員の辞任に伴い中村 竹五郎が繰上当選で委員に就任し、更に、今 与自郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷 功男が委員に当選した。議会側からは新たに佐藤 文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川 要助が、副委員長には市村 政五郎が選ばれた。

昭和31年6月の第2回国会において「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立(同年10月1日施行)に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することとなった。

同年9月第3回定例町議会において、五十嵐 直蔵、信田 信太郎、高橋 三次郎、内村 ナツ、菅原 恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長五十嵐 直蔵、副委員長内村 ナツ、教育長菅原 恵一が選出された。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていた。

#### 4 市内小中学校の変遷

	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治 12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治 13.4.) 千歳教育所 ↓ (明治 22.) 千歳簡易小学校 ↓ (明治 28.) 千歳尋常小学校	(明治 31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治 33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治 39.9) 阿宇砂里簡易教育所	(明治 32.9) 私立教育所 ↓ (明治 33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治 34.6.3) 長都尋常小学校	(明治 33.6.8) 嶮淵簡易教育所	(明治 33.9.24) 幌加簡易教育所
	(大正 7.12) 高等科設置	(大正 6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校	(大正 15.5.1) 釜加特別教授場	(大正 6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置	(大正 5.10.25) 幌加尋常小学校
昭和	(昭和 16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳小学校	(昭和 16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和 22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 駒里小学校	(昭和 7)統合 ↓ (昭和 15.6) 高等科設置 ↓ (昭和 16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和 22.4) 長都小学校	(昭和 16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和 22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和 43.3.31) 第二小学校へ統合	(昭和 16.4) 幌加国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校
	(平成 5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成 17.3.31) 北陽小学校へ統合		
平成					

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉦山小学校
明治		(明治 26 ころ) 説教所で寺子屋 ↓				
	(明治 34.12.1) 近唐教育所 ↓	(明治 35.4) 木臼簡易教育所 ↓				
大正	(大正 6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正 6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正元.10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正 6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置 ↓	(大正 7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正 9.12.13) 千歳小学校根志越分教場 ↓ (大正 13) 根志越特別教授所 ↓	
			(昭和 6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和 11.11.30) 千歳鉦山特別分教場設置 ↓ (昭和 16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和 22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和 22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和 26.4) 水明小学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.3.31) 支笏湖小学校～統合			
昭和	(昭和 16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和 22.4) 近唐小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 協和小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和 22.4) 木臼小学校 ↓ (昭和 26.4.1) 中央小学校 ↓		(昭和 16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 東丘小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和 22、4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓	(昭和 11.11.30) 烏柵舞尋常高等小 千歳鉦山特別教授所 ↓ (昭和 12.10.1) 千歳鉦山尋常高等 小学校 ↓ (昭和 16.4) 千歳鉦山国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳鉦山小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校
平成		(平成 5.3.31) 千歳小学校～統合			現在に至る	

	<b>蘭越小学校</b>	<b>支笏湖小学校</b>	<b>千歳第三小学校</b>	<b>北栄小学校</b>	<b>末広小学校</b>	<b>緑小学校</b>
昭和	(昭和 21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22.4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和 22.12.25) 烏柵舞小学校支笏湖畔分教場 ↓ (昭和 24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23.6) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和 31.4) 開校 現在に至る	(昭和 32.4) 開校 ↓ (昭和 53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	<b>藤の沢小中学校</b>	<b>北進小中学校</b>	<b>日の出小学校</b>	<b>信濃小学校</b>	<b>高台小学校</b>	<b>東小学校</b>
昭和	(昭和 34.4.1) 水明小中学校藤の沢分校 ↓ (昭和 39.3.31) 水明中藤の沢分校 水明中学校へ統合 ↓ (昭和 39.4.1) 千歳小学校藤の沢分校 ↓ (昭和 41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42.3.31) 廃校	(昭和 35.5.5) 千歳小中学校特殊学級 ↓ (昭和 37.4.1) 千歳中学校特殊学級併設 ↓ (昭和 40.10.1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和 46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和 43.4.1) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 千歳第三小学校を統合 現在に至る	(昭和 45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 46.1.1) 開校 幌加、協和、東丘の3校を統合して開校 現在に至る
	<b>祝梅小学校</b>	<b>桜木小学校</b>	<b>向陽台小学校</b>	<b>北陽小学校</b>	<b>泉沢小学校</b>	<b>長都中学校</b>
昭和・平成	(昭和 51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 57.4.1) 開校 現在に至る	(平成 6.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校長都分校として小学校に併置 ↓ (昭和 30.5.23) 長都中学校として独立 ↓ (昭和 52.4.1) 長都小中学校 ↓ (平成 17.3.31) 富丘中学校へ統合
	<b>千歳中学校</b>	<b>東千歳中学校</b>	<b>青葉中学校</b>	<b>千歳鉦山中学校</b>	<b>駒里中学校</b>	<b>泉郷中学校</b>
昭和	(昭和 22.6.4) 開校 ↓ (昭和 41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷中学校を統合 現在に至る	(昭和 22.6.5) 幌加中学校として小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校鉦山分校として小学校に併置 ↓ (昭和 25.4.1) 千歳鉦山中学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校	(昭和 25.12) 千歳中学校阿宇砂里分校として小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 駒里分校 ↓ (昭和 31.1.1) 駒里中学校として小学校に併置 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校嶮淵分校として小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和 31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳中学校へ統合

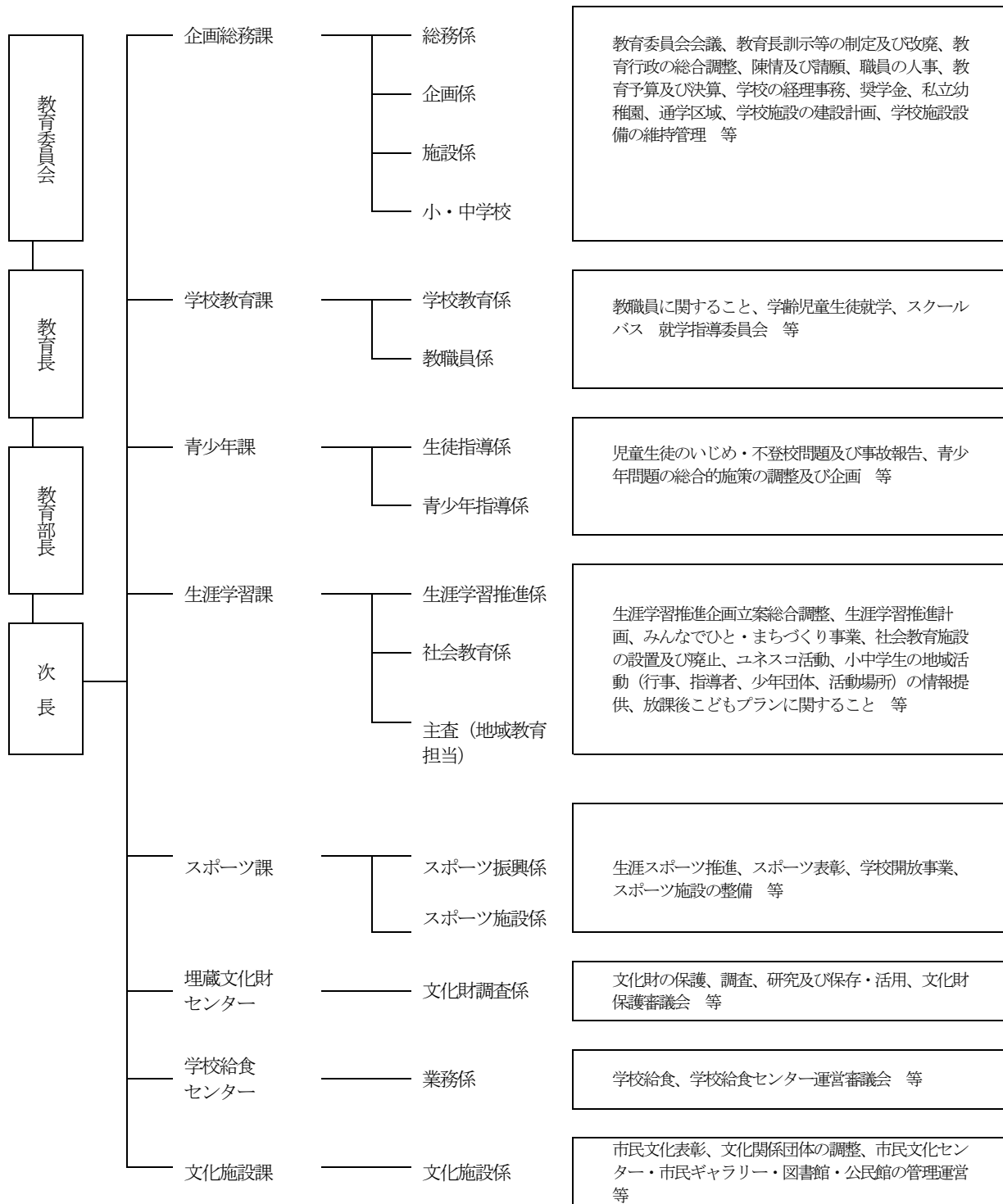


	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭 和	(昭和 22.5.13) 千歳中学校木臼分校として小学校に併置	(昭和 24.4.8) 千歳中学校鳥柵舞分校として小学校に併置	(昭和 47.1.1) 開校 ↓ (昭和 47.4.1) 中央中学校を統合 現在に至る	(昭和 50.4.1) 開校 現在に至る ↓ (平成 17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和 59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 62.4.1) 開校 現在に至る
	(昭和 26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和 31.1.1) 中央中学校 ↓ (昭和 47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和 26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和 31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和 41.3.31) 千歳中学校へ統合				



平成 17 年 3 月に閉校となった長都小中学校

## 5 教育委員会組織と事務分掌



部付主査<財. 千歳青少年教育財団>

主幹<財. 千歳市体育協会>

## [2] 教育財政

### 1 教育予算

#### (1) 教育費の推移(人件費を除く)

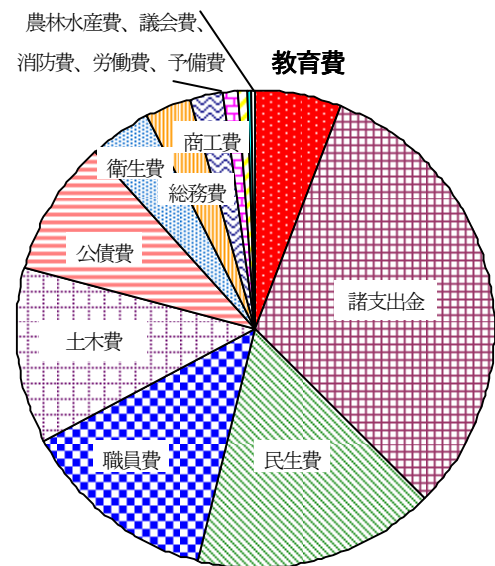
(単位：千円)

年度 区分	当 初 予 算 額				
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
教育費	2,926,143	2,344,088	2,608,001	2,770,011	2,752,874
一般会計	34,586,350	46,755,915	45,405,244	46,870,585	43,180,159
構成比	8.5%	5.0%	5.7%	5.9%	6.4%

#### (2) 平成21年度当初予算構成

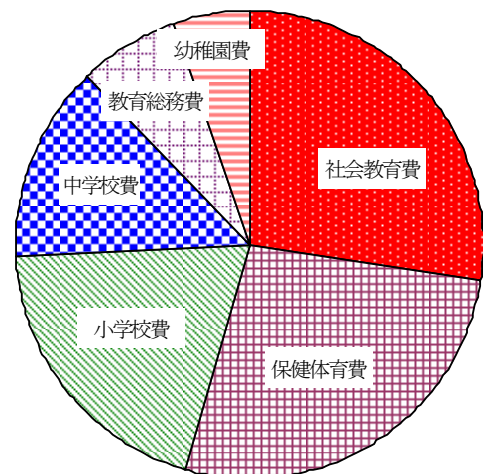
一般会計 (単位：千円)

区 分	金 額	比 率 %
議 会 費	215,195	0.5
総 務 費	1,576,663	3.6
民 生 費	8,372,589	19.4
衛 生 費	1,791,875	4.1
労 働 費	29,555	0.1
農 林 水 産 業 費	469,810	1.1
商 工 費	1,115,361	2.6
土 木 費	4,961,491	11.5
消 防 費	275,188	0.6
教 育 費	2,752,874	6.4
公 債 費	4,192,113	9.7
諸 支 出 金	11,486,266	26.6
職 員 費	5,921,179	13.7
予 備 費	20,000	0.1
総 額	43,180,159	100.0



教育費 (単位：千円)

区 分	金 額	比 率 %
教育総務費	179,042	6.5
小学校費	556,373	20.2
中学校費	298,974	10.9
幼稚園費	165,240	6.0
社会教育費	694,790	25.2
保健体育費	858,455	31.2
総 額	2,752,874	100.0



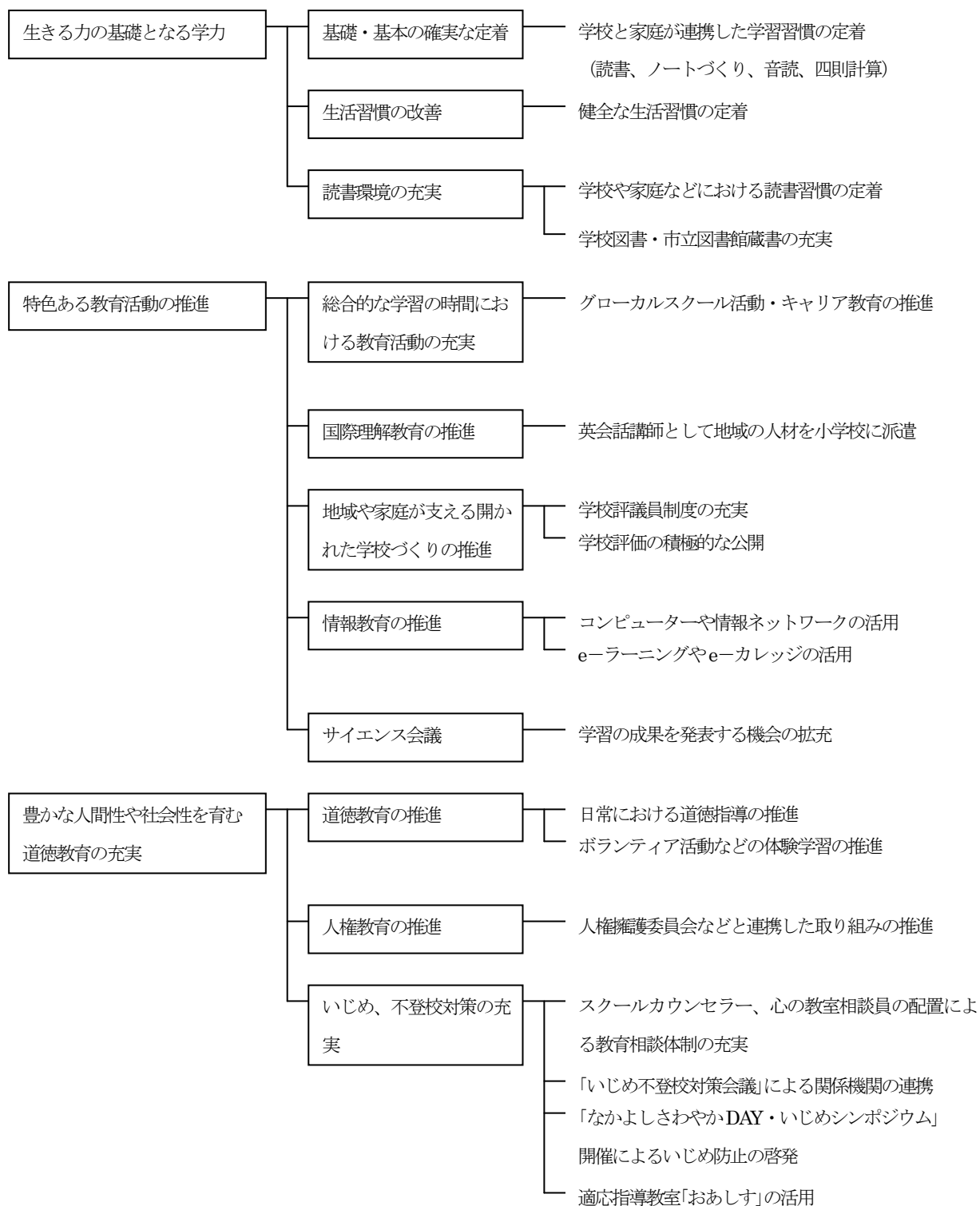
## 2 平成21年度主要事業予算

(単位：千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
教育費			2,752,874	
	教育総務費		179,042	
		教育委員会費	42,848	教育委員会運営管理経費、庁舎管理経費、修学支援事業費等
		教育振興費	107,385	スクールバス運行経費、特別支援教育体制推進事業費、外国青年招致事業費等
		教育財産管理費	28,809	教員住宅維持管理費経費等
	小学校費		556,373	
		小学校管理費	388,908	小学校運営管理業務経費、小学校就学援助事業費等
		小学校営繕費	167,465	小学校維持補修業務経費、小学校耐震化改修事業費等
	中学校費		298,974	
		中学校管理費	254,079	中学校運営管理業務経費、中学校就学援助事業費等
		中学校営繕費	17,949	中学校維持補修業務経費、中学校営繕事業費等
		中学校建設事業費	26,946	富丘中学校仮設校舎整備事業費等
	幼稚園費		165,240	
		幼稚園振興費	165,240	幼稚園教育振興事業費（就園奨励費補助金等）
	社会教育費		694,790	
		社会教育振興費	13,799	家庭教育講座開催事業費、生涯学習まちづくり推進講座開催事業費、高齢者学級開催事業費等
		青少年対策費	172,498	青少年健全育成事業費、放課後子どもプラン推進事業費等
		公民館費	20,546	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費等
		文化振興費	112,004	文化活動支援事業費、埋蔵文化財センター移転整備事業費等
		図書館費	191,920	図書館施設管理経費、図書館冷暖房設備更新事業費等
		市民文化センター費	184,023	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費等
	保健体育費		858,455	
		保健体育総務費	24,650	児童・生徒健康診断事業費、就学援助事業費等
		給食センター費	336,699	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費等
		体育振興費	497,106	スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費等

# V 学校教育

## 〔1〕学校教育の主な施策





## 〔2〕児童生徒数の推移

### 1 小学校

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
千歳小	319	321	328	294	297	295	290	279	280	297	301
北進小	23	15	24	24	30	29	27	37	40	38	41
北栄小	411	381	358	309	288	292	283	276	305	304	295
末広小	454	415	397	401	406	435	443	451	455	481	463
緑小	353	338	325	329	337	322	334	349	348	349	359
千歳第二小	307	371	426	478	493	480	494	473	444	419	392
駒里小	16	17	19	14	13	13	10	8	11	14	11
長都小	16	17	17	11	8	5					
支笏湖小	11	14	10	11	8	9	11	11	12	12	11
日の出小	647	639	657	677	678	680	681	673	655	643	616
信濃小	443	439	430	440	459	447	457	446	433	428	445
高台小	387	374	370	362	348	330	325	324	306	303	315
東小	36	32	27	25	24	27	22	27	28	28	28
祝梅小	551	544	539	520	484	485	472	434	421	382	376
桜木小	565	546	536	531	538	532	547	532	527	497	471
向陽台小	356	326	308	292	268	272	264	250	233	220	213
北陽小	513	506	556	577	572	594	652	703	741	826	946
泉沢小	562	578	566	581	594	595	579	513	505	454	427
合計	5,970	5,873	5,893	5,876	5,845	5,842	5,891	5,786	5,744	5,695	5,710

### 2 中学校

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
千歳中	537	512	504	470	459	439	444	452	446	454	462
北進中	29	34	29	32	17	16	21	24	24	20	22
青葉中	631	584	540	542	560	550	532	518	536	546	533
東千歳中	22	18	16	23	22	19	15	11	12	9	11
長都中	11	9	11	7	11	7					
駒里中	13	7	5	10	11	12	8	9	11	10	9
真町中	144	131	122	121	112	93	80	83	91	91	93
富丘中	736	735	747	723	742	772	830	850	900	899	899
北斗中	404	406	375	351	326	340	346	378	382	393	376
向陽台中	495	511	478	461	445	443	441	433	412	413	379
合計	3,022	2,947	2,827	2,740	2,705	2,691	2,717	2,758	2,814	2,835	2,784





※児童生徒数は各年度5月1日現在




### [3] 学校の概要

#### 1 小学校


学 校 名 所 在 地 電 話	 千 歳 小 学 校 本町3丁目4番地の1 23-2181	 北 進 小 学 校 北栄1丁目2番6号 23-3439
創設年月日	明治12年10月15日	昭和35年5月5日
校 長 名	釜 田 恵 児	梅 野 浩
教 頭 名	東 口 明 雄	村 山 浩
教 職 員 数	教諭 14名 養護教諭 1名 栄養教諭 1名	教諭 8名 養護教諭 1名
学 級 数 児 童・生 徒 数	12学級 300名	知的障がい学級3、自閉症・情緒障がい学級3 計6学級 38名
面 積	校地 15,089㎡ 校舎 5,309㎡	校地 11,341㎡ 校舎 2,607㎡
教 育 目 標	「自然や人とふれあい、心豊かに 明日に向かってみがき合う」 ～私たちは誇り高い千歳小学校の子どもです～ ・すすんで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・意志の強い子 ・きたえる子	「21世紀を、自分のよさを発揮し、 広く豊かに生きる子どもの育成」 ・たしかに学ぶ子 ・かかわりをもてる子 ・たくましく生きる子
学 校 課 題	「自ら学び つながりあいを大切にし 豊かに生 きる子どもの育成」 (研究主題) つながりあって学ぶ子供たちの育成	自分のよさを生かす子どもの育成
沿 革 及 び 特 色 有 る 教 育 施 策	明治12年10月15日 寺子屋式教育を始める 明治13年 4月 1日 千歳教育所となる 明治28年 3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年 4月 1日 千歳小学校となる 昭和53年10月15日 開校100年記念式典挙行 平成元年 2月19日 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成 6年 6月24～30日 サンドレイク小学校児童他 29名 来校 相互訪問開始 平成 9年 3月25～31日 本校児童他 54名、サンドレイク 小学校訪問 平成10年 5月 8日 石狩教育研究所「総合学習」研究 協力校 平成10年11月22日 開校120年記念集会挙行 平成15年11月14日 石教研学校課題研究発表会開催 平成18年 6月14日 サンドレイク小学校児童他 46名来校 平成20年 1月 5日 サンドレイク小学校訪問 (本校児童 他 26名) 1 青葉公園の自然や施設を活用した「あおば学習」 『総合的な学習の時間』の実践 ・青葉公園の素材を活かした環境教育 (春の青葉、夏 の青葉、秋の青葉、冬の青葉) ・千歳市高星大学と連携した伝承遊びの交流 2 姉妹校サンドレイク小学校との国際理解教育の実践 ・絵・習字等児童作品の交流 ・児童・教師・保護者による相互訪問交流 ・インターネットを活用した情報交流の推進 3 千歳科学技術大学との連携 ・5・6年生を中心とするおもしろ実験教室の開催 ・eラーニングを取り入れた学習の推進 4 千歳東小学校との交流	昭和35年 5月 5日 児童会館内に千歳小学校特殊学級とし て発足 昭和38年12月 8日 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 1日 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年 4月 1日 北進小中学校として独立 昭和49年 4月 1日 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年 4月 1日 情緒障害学級開設 平成 3年 3月 開校30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 8日 開校40周年記念祝賀会 平成18年 2月 9日 北海道教育実践表彰受賞  全国的にも希な「特別支援学級のための独立校」であり、千 歳市特別支援教育センター校としての役割を担っている 1 学級担任制と小・中一貫教育の推進 ・養護学校と同じように完全学級担任制を実施 ・小学校から中学校への9年間の連続した指導体制 2 「社会参加」「生きる力の育成」を目指した指導の推進 ・「生活単元学習」「作業学習」等の「領域・教科を合わせ た指導」を基に「生の体験」を通して「課題を解決する 力や応用力」「仲間と楽しむ力」を目指した総合的学習 の時間の取り組み 3 子どもの思い・保護者のニーズに応じた個別の指導計 画表の実施とインフォームドコンセント・アカウントビ リティへの取り組み 4 児童の主体的活動としての「自立活動」の推進と子ど も・学校支援機関との連携
学 校 全 景		



学 校 名 地 所 在 地 電 話		北栄小学校 北栄1丁目10番2号 23-4138		末広小学校 富丘2丁目6番2号 23-4127
創設年月日	昭和28年5月25日		昭和31年4月1日	
校 長 名	穴 田 恵 子		藤 崎 利 博	
教 頭 名	前 田 敦 志		岸 久 夫	
教 職 員 数	教諭 22名 養護教諭 1名		教諭 18名 養護教諭 1名 栄養教諭 1名	
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	15学級 295名 (うち特殊学級5学級31名)		14学級 463名	
面 積	校地 30,302㎡ 校舎 6,033㎡		校地 22,005㎡ 校舎 5,931㎡	
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで学習する子ども</li> <li>・豊かな心をもった子ども</li> <li>・仲間を大事にする子ども</li> <li>・健康で明るい子ども</li> <li>・みんなといっしょに働く子ども</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで やりぬく子 (意) 「わたしがします ぼくがする」</li> <li>・えがおで 元気な子 (体) 「明るいあいさつ じょうぶなからだ」</li> <li>・ひろい心で やさしい子 (情) 「なかよく しんせつ ありがとう」</li> <li>・6年間を 自ら学ぶ子 「よく考えます わかるまで」</li> </ul>	
学 校 課 題	思いやりの心をもち、主体的に行動する子どもを育てる教育活動の創造 (研究主題) 意欲を持って学習に取り組む子どもの育成 ～わかる・できる喜びを実感できる授業づくりを通して～		かかわる力を高め、確かな学び、豊かな学びができる子の育成 (研究課題) 子どもの自他共生力を高める学びの創造	
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	昭和28年 5月25日 千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年 5月 1日 情緒障害児学級新設 昭和58年11月15日 全日本バンドフェスティバル (長野県) 出場 平成15年11月15日 開校50周年記念式典挙行 平成17年 2月24日 石狩教育局長表彰受賞 (スクールバンド) 平成18年 3月 「北栄小子どもを見守り隊」発足 平成19年10月11日 緑化事業「げんきの森」完成式典 平成20年12月21日 マーチングバンドコンテスト全国大会で銀賞受賞  1 スクールバンド (吹奏楽) を編成し、情操豊かな子どもの育成に努める。 ・定期演奏会、校内行事・地域行事及びコンクールへの参加 2 魅力ある環境構成を工夫し、身近な自然に自ら関わっていきける子どもの育成に努める。 ・学校環境緑化モデル校 北栄小「げんきの森」 3 異学年交流活動 (縦割り班) の推進 ・ゲーム集会、校外清掃活動、北栄っ子祭り ・冬を楽しむ活動 (雪像大会、雪中ゲーム) 4 たんぽぽふれあい広場 (グローバルスクール活動事業) ・人とのふれあい等を通して、共生していくことの大切さを学ぶ。 ・手製カレンダー作成		昭和31年 4月 1日 新設開校 8月25日 開校記念式典挙行 昭和49年 3月 現在地に校舎移転 平成 8年11月17日 開校40周年をお祝いする会挙行 平成10年 3月 北海道教育実践表彰受賞 平成15年 9月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成19年 2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 5日 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年 2月15日 北海道教育実践表彰受賞 平成21年 3月31日 多目的トイレ完成  1 文化資料室「チセ」 (校内施設) 地域の伝統文化 (アイヌ文化) を正しく子どもたちに理解させたいとの願いのもと、開校40周年事業として平成8年4月に完成した。外部から講師を招いて歌やユーカラを聴いたり、昔の遊びを実演し体験的活動の充実を図っている。 2 授業の工夫改善 個に応じた指導の工夫を進め算数等でのTT指導による基礎基本の定着、校外からの人材活用・ゲストティーチャーによる多様な授業の充実と創造を図る。 3 なかよしランチ 年3回異学年で給食を食べながら交流したあと集団遊びをして思いやりの心を育てる。	
学 校 全 景				

学 校 名 所 在 地 電 話		緑小学校 緑町4丁目4-1 23-4107		千歳第二小学校 清流1丁目4番1号 23-1971
創設年月日	昭和32年4月1日		大正9年12月13日	
校 長 名	伊 藤 祐 二		小 石 和 博	
教 頭 名	石 黒 隆 一		郷 範 昭	
教 職 員 数	教諭 20名 養護教諭 1名		教諭 17名 養護教諭 1名	
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	13学級 359名 (ほか通級「ことばの教室」43名)		13学級 392名	
面 積	校地 19,328㎡ 校舎 6,498㎡		校地 25,693㎡ 校舎 4,950㎡	
教 育 目 標	「私たちは 未来へと進む 緑小の子ども」 ・なかよく元気に遊びます…… からだ (体) ・すすんで学びかんがえます…… あたま (知) ・めあてをもって努力します…… 生きる力 (意) ・人や地球にやさしくします…… こころ (情)		・明るく 思いやりのある子 ・ねばり強く たくましい子 ・よく考え 進んで学習する子	
学 校 課 題	心豊かな子どもを育み、確かな学力を身につける (研究主題) 「確かな学力を身につけ、 思いを伝え合う子どもの育成」 ～豊かな表現活動をめざして～		豊かな心で生き生きと活動する子どもの育成 (研究主題) 「主体的に学習に取り組む子どもの育成」 ～算教科における表現力の向上を目指した指導方法の工夫～	
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	<p>昭和32年 4月 1日 新設開校</p> <p>昭和49年 4月 1日 言語治療教室開設</p> <p>昭和52年 9月25日 開校20周年記念式典挙行</p> <p>昭和53年 4月 1日 蘭越小学校と統合</p> <p>昭和59年 1月20日 校舎増改築工事完了・引越し</p> <p>昭和62年11月14日 開校30周年記念式典挙行</p> <p>平成 7年 4月 1日 言語通級指導学級開始</p> <p>平成17年10月28日 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催</p> <p>平成17年10月28日 石狩管内教育実践奨励表彰受賞</p> <p>平成19年 4月 1日 普12学級(349名)言語通級指導(46名)</p> <p>1 豊かな体験を生かし、心の成長をうながす道徳教育</p> <p>① 道徳的実践力を育てるための三領域一時間の全体計画の整備</p> <p>② 心に深く訴える教材の開発と活用</p> <p>③ 体験活動や表現活動を内面化する工夫</p> <p>2 地域の自然や文化、人材などを生かした活動の工夫</p> <p>① 人権教育・地域ウタリ協会と連携したアイヌ文化の学習</p> <p>② 地域の自然を再発見し、命の大切さを学ぶ千歳川カヌー体験</p> <p>③ 千歳科学技術大学との交流・一日入学(5年生)出前授業(4年生、6年生・2回)</p> <p>④ 地域人材の教育ボランティアを活用した教育活動</p>		<p>大正 9年12月13日 千歳尋常小学校根志越分教場として開校</p> <p>昭和21年 4月 1日 千歳第二国民学校として独立</p> <p>昭和22年 4月 1日 千歳第二小学校となる</p> <p>昭和43年 4月 1日 泉郷小学校統合</p> <p>昭和45年12月13日 開校80周年記念式典挙行</p> <p>平成 4年 2月27日 石狩管内教育実践奨励表彰受賞</p> <p>平成11年 1月 サケの稚魚の飼育開始</p> <p>平成11年 3月 増築校舎完成(第1期)</p> <p>平成12年11月18日 開校80周年記念公開授業研究会</p> <p>平成15年 4月 少人数指導開始</p> <p>平成18年 4月 二学期制実施</p> <p>平成19年 5月 スクールカウンセラー配置事業開始</p> <p>平成19年12月 児童用PC40台、指導用PC1台設置</p> <p>平成20年 4月 特別支援教育支援員配置開始</p> <p>1 朝の10分間パワーアップ学習(国語、算数、読書) (つまづきの克服、学習の習熟、読書活動)</p> <p>2 T・T指導、少人数指導、合同授業等の実施 (学習意欲を高め、個人差に応じた学習の展開)</p> <p>3 地域の教育資源を生かした学校づくり (老人クラブの人たちと花壇づくりをしたり、地域の名人さがし、昔の遊びの伝承、開校記念日の同窓生によるお話、千歳川に焦点を当てた学習、アイヌ文化の理解等)</p> <p>4 ボランティア活動 (資源保護活動、福祉活動、環境美化活動を通して、奉仕の心を育てる。)</p>	
学 校 全 景				

学 校 名 所 在 地 電 話		駒里小学校 駒里 945 番地の 6 23-3237		支笏湖小学校 支笏湖温泉 2 番地 25-2729
創設年月日	明治 39 年 9 月 1 日		昭和 23 年 12 月 1 日	
校 長 名	野 原 大 紀		河 野 修 一	
教 頭 名	福 田 幸 一		品 田 敏	
教 職 員 数	教諭 3 名 養護教諭 1 名		教諭 2 名 養護教諭 1 名	
学 級 数 児 童・生 徒 数	3 学級 11 名		3 学級 11 名	
面 積	校地 42,833 m <sup>2</sup> 校舎 1,207 m <sup>2</sup>		校地 14,940 m <sup>2</sup> 校舎 1,643 m <sup>2</sup>	
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い心を持ち 人と自然を愛する子ども (やさしい子ども)</li> <li>・ 健康な心と身体をもった元気な子ども (元気な子ども)</li> <li>・ 自ら進んで学びとる子ども (進んで学ぶ子ども)</li> </ul>		「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら考え、創造する子ども (知)</li> <li>・ 明るく、協力する子ども (情)</li> <li>・ 根気よく、実行する子ども (意)</li> <li>・ 心身をきたえる子ども (体)</li> </ul>	
学 校 課 題	1 子ども一人一人のよさや可能性を最大限に引き出し、自己を高める心を育む教育を進める。 2 地域とともに、郷土や学校を愛し、誇りとする教育を進める。		自ら考え 生き生きと活動する 子どもの育成	
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	明治33年 6月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治39年 9月 1日 阿宇砂里簡易教育所となる 大正 6年 4月 1日 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和22年 4月 1日 阿宇砂里小学校となる 昭和27年 4月 1日 駒里小学校となる 平成 8年 9月 開校90周年記念集会举行 平成10年10月 全道へき地複式・併置校教育研究大会石狩大会会場 平成15年 4月 交通安全キャンペーン表彰 平成16年 9月 交通安全キャンペーン20年達成 平成17年 8月 大規模改修 平成18年11月 小学校開校100周年 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成19年 5月 石狩館内複式校新任者研究大会 平成20年 7月 文科省指定 豊かな体験活動 ○地域の自然体験と探究活動を中心とした総合的な学習活動 ・前期「農園学習活動」・後期「自由課題学習活動」の実施 ○体力づくり活動 ・パークゴルフ、一輪車、歩くスキー ○ボランティア活動 ・クリーン作戦、交通安全キャンペーン、学校祭もちつき会へのお年寄りの招待 ○ドリルタイム読書活動による基礎学力の向上		昭和22年12月25日 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 1日 支笏湖小学校の認可 昭和23年12月末日 現在のユースホステルに校舎完成 昭和24年 1月29日 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7月25日 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典举行 昭和49年 7月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典举行 昭和54年12月 開校30周年記念式典举行 昭和57年 2月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年2月・8月 南国市立奈路小学校との交流 11月 開校50年記念式・祝賀会举行 平成18年 5月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）受賞 平成19年 5月 野生生物保護功労者表彰 ○「支笏湖ふるさと」学習 ・公園清掃—早朝、老人クラブや青年団と清掃を実施 ・野鳥学習—給餌活動、観察活動、観察遠足 ・フェスター総合学習発表会 ・奈路交流—高知県南国市立奈路小学校との交流活動 ・全校鼓笛隊—湖水まつり、紅葉まつりへの出演 ・ヒメマス学習—ヒメマスへの給餌・観察 ○地域と行事の共催 ・運動会、学芸会、スケート大会	
学 校 全 景				



学 校 名 所 在 地 電 話		日の出小学校 日の出2丁目3番20号 23-2670		信濃小学校 信濃2丁目34番12号 23-4752
創設年月日	昭和41年12月1日		昭和43年4月1日	
校 長 名	入 沢 潤 司		高 田 久	
教 頭 名	比 良 彰 男		加 藤 理 恵	
教 職 員 数	教諭 22名 養護教諭 1名		教諭 19名 養護教諭 1名	
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	19学級 617名		14学級 445名	
面 積	校地 21,997㎡ 校舎 4,899㎡		校地 23,236㎡ 校舎 5,644㎡	
教 育 目 標	「元気なあいさつ、学び喜び、 未来へはばたく日の出小」 ・進んで学習する子(知) ・思いやりのある子(情) ・考えて行動する子(意) ・元気に活動する子(体)		新しい時代の担い手として、一人ひとりがその個性・能力を伸ばし、希望をもって生き生きと自己実現できるように希求する。 ・考える子 ・やさしい子 ・がんばる子 ・じょうぶな子	
学 校 課 題	自分の思いを伝え合う子どもの育成 ～国語科と外国語活動を通して～		自ら考え、行動し、明るく思いやりのある 子どもの育成 ～基礎的・基本的事項の指導の徹底と 心の育成のための働きかけとして～	
沿 革 及 び 特 色 有 る 教 育 施 策	<p>昭和41年12月1日 新設開校 昭和42年1月20日 開校記念式挙行 昭和51年3月 祝梅小分離 昭和51年6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業</p> <p>1 地域の学校として、家庭・学校・地域が一体となり教育的環境の充実に努めるとともに、「ふれあいフェスティバル」等を通して、地域・親子のふれあいを重視し、豊かな心を育む活動を推進している。</p> <p>2 T・T指導や少人数指導を通し、基礎基本の定着と子ども一人一人の可能性を引き出す指導体制を確立するとともに、体験的な学習や問題解決的学習を積極的にすすめ、自ら学ぶ喜びを味わわせる教育課程の編成に努めている。</p> <p>3 全校児童による「日の出よさこいソーラン」の「音楽と踊りの表現活動」を通して、学年に応じた表現力や創作意欲を高めている。</p> <p>4 地域の自然や社会に働きかけ、環境への関心を高めるとともに、生き物や人とふれあい、それを大切に思う心の育成に努めている。</p> <p>5 「分間走」「スケート学習」「水泳」など体育活動を通し、健やかな心身の育成を図っている。</p>		<p>昭和43年4月1日 新設開校 昭和47年12月25日 体育館(講堂)完成 昭和48年7月1日 開校5周年記念式典 昭和53年3月31日 桜木小分離 10月1日 開校10周年記念式典挙行 昭和63年1月28日 「信濃の森」購入 10月30日 開校20周年記念式典挙行 平成2年11月14日 学校プール完成 平成6年4月1日 北陽小分離 平成10年8月30日 開校30周年記念式典挙行 平成20年11月21日 開校40周年記念事業学校課題研究発表会 平成21年3月29日 ドッジボールチーム「信濃DBC」北海道大会で優勝し、全国小学生大会に出場</p> <p>1 人間としての土台を築く学校 ・しっかり学習する子 ・なかよく生活する子 ・のびのび運動</p> <p>2 「信濃の森」での学習活動、学年花壇の栽培、奉仕活動 3 全校児童縦割りによる交流活動「ジャンボタイム」 4 「全校平和タイム」 5 「PTAふれあい祭り」の実施 6 「PTA父親協力委員会」の活動 7 地域の老人クラブ、障がいのある方々等とのふれあい 8 「千歳っ子見守り隊(信濃小学校区)」の活動</p>	
学 校 全 景				



学 校 名 所 在 地 電 話		高台小学校 富丘1丁目19番4号 23-9109		東小学校 東丘824番地の30 21-3200
創設年月日	昭和45年4月1日		昭和46年1月1日	
校 長 名	中村正恵		若山真	
教 頭 名	河村英俊		安部紀江	
教 職 員 数	教諭 15名 養護教諭 1名		教諭 4名 養護教諭 1名	
学 級 数 児 童・生 徒 数	12学級 314名		4学級 28名	
面 積	校地 21,844 m <sup>2</sup> 校舎 5,068 m <sup>2</sup>		校地 22,150 m <sup>2</sup> 校舎 2,183 m <sup>2</sup>	
教 育 目 標	「広く、深く、心豊かに生きぬく 高台の子の育成をめざす」 ・深く考え 学び合う子 深く考え、進んで行動する子の育成 ・広い心で 助け合う子 明るく思いやりのある子の育成 ・心豊かに 生きぬく子 健康で粘り強くやりぬく子の育成		「思いやる心で たくましく 学びつづける東っ子」	
学 校 課 題	基礎・基本を身に付け、自分の願いや思いを 生き生きと表現できる子どもの育成		豊かな知恵と、たくましい実践力をもった子どもの 育成	
沿 革 及び 特 色 有 る 教 育 施 策	<p>昭和45年 4月 1日 新設開校 昭和54年 5月 7日 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級 開設 昭和55年11月 2日 開校10周年記念式典祝賀会举行 平成 2年11月23日 開校20周年記念式典举行 平成12年 9月 6日 小学校英会話学習モデル事業開始 10月 7日 開校30周年記念式典举行 平成15年 3月26日 平成14年度北海道公立学校教育課程 実践・石狩教育局長表彰 平成16年11月19日 千歳市学校課題研究発表会 平成18年 2月21日 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 8月22日 「人権の花」感謝状受賞 平成20年 1月 8日 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を 通し交流</p> <p>身近な地域の「人」、「文化」、「自然」、「施設」を生かした 体験的な活動や各種ふれあい事業と児童の自主性を重視した活動を通して、「広く深く豊かに生きぬく高台の 子」を育成する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>福祉、ボランティア体験活動を重視した福祉教育</li> <li>「ふれあい花壇」を通して進める環境美化活動</li> <li>「サケのふるさと館」等を活用した地域学習</li> <li>「高台っ子祭り」の開催</li> <li>全校児童がふれあう児童会主催の全校集会活動</li> <li>基本的な生活習慣の確立をめざした「生活ノート」の活用</li> <li>朝の「さわやかタイム」を活用した国語科・算数科における基礎基本の定着</li> <li>家庭との連携による家庭学習の習慣化や食育の充実</li> <li>縄跳び運動の継続などによる体力づくりの推進</li> </ol>		<p>昭和46年 1月 1日 幌加小、協和小、東丘小の3校統合 開校 昭和55年11月23日 開校10周年記念式典举行 平成 2年11月25日 開校20周年記念式典举行 平成10年10月 1日 全道へき複大会第5分科会会場校 平成12年12月 3日 開校30周年記念式典举行 平成13年 9月 2日 コンピューター室整備 平成13年10月19日 学校林記念植樹 平成14年10月31日 石教研へき複部会研究集会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>農業体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校田の活動 (田植え・稲刈り・はさがけ・脱穀・もちつき集会) ・もち米づくりの体験を通して、作物を育てる苦労や主食について考える。</li> <li>○学校園の栽培活動 ・学校園で育てた作物を通して、地域との交流に生かしたり、食材について研究を行う。</li> </ul> </li> <li>全校一斉歯磨き指導 ・虫歯保有率、歯茎不良の減少をめざした給食後の一斉歯磨き指導</li> <li>地域との連携行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中合同運動会 ・小・中・保・地域が連携をとり、地域全体で子どもの健全育成を図る。</li> <li>○下の句カルタ会 ・地域の伝統文化と関連付けた百人一首集会を通じ、地域の方とのふれあいと指導の支援をお願いしている。</li> </ul> </li> </ol>	
学 校 全 景				

学 校 名 所 在 地 電 話	 祝梅小学校 梅ヶ丘3丁目2番1号 23-1110	 桜木小学校 自由ヶ丘7丁目1番1号 22-3301
創設年月日	昭和51年4月1日	昭和53年4月1日
校 長 名	谷 川 季 文	田 中 博 之
教 頭 名	橋 本 悟	津 山 功 一
教 職 員 数	教諭 15名 養護教諭 1名 栄養教諭 1名	教諭 19名 養護教諭 1名
学 級 数 児 童・生 徒 数	12学級 377名	15学級 471名
面 積	校地 21,444 m <sup>2</sup> 校舎 5,294 m <sup>2</sup>	校地 26,817 m <sup>2</sup> 校舎 5,548 m <sup>2</sup>
教 育 目 標	たくましいからだと豊かな心をもった人間の育成 ・強いからだと心をきたえる子……強く ・正しいことを進んでする子……正しく ・みんなと仲よくできる明るい子……明るく ・みずから考え創造する子……豊かに	・自ら学ぼうとする意欲とともに高まろうとする意志を持ち ・感性豊かな中にも自律心と協調心を持ち ・何事にも挫けない強い心を持ち ・健やかな体でたくましく生きる人間の育成を図る
学 校 課 題	「心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成」 (研究課題) 「意欲的に学習し、豊かに表現する子どもの育成」 ～国語科「話すこと聞くこと」領域の研究を軸とした実践を通して～	一人ひとりのよさを生かし、意欲的に活動する心豊かな子どもの育成 (1)自ら学ぶ子どもを育てる (2)豊かな心を育てる (3)社会性を育てる (4)健やかな体を育てる
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	昭和51年 4月 1日 新設開校 昭和52年 2月 9日 6年生タイムカプセル収埋(2000年に回収) 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 6年 1月20日 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成 7年11月12日 開校20周年記念式典挙行 平成17年12月 8日 開校30周年記念式典挙行 平成21年 1月 8日 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流(児童2名教諭1名)  1 のびのび生き生きと命を育む体験活動(思いやりの心を育成するために) ・サケの飼育活動(観察・飼育・市内の他校及び西大寺南小と合同で稚魚の放流活動) ・花壇作り(花いっぱいコンクール参加) ・栽培観察活動、小動物の飼育等をグローバルスクール活動として実施 2 祝梅タイム 意欲的な学習態度の育成をめざし、朝の15分間を活用して読書活動など、子ども達の主体性を重視した多様な取り組みを計画実施 3 ボランティア活動 地域の清掃活動や牛乳パックのリサイクル、リングプルの回収、愛キャップ運動などを通してボランティアの心を育てる。	昭和53年 4月 1日 新設開校 昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行 平成元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成 平成 8年 2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校 盟約締結 平成10年11月 開校20周年記念式典挙行 平成16年 2月 石狩教育実践奨励表彰受賞 5月 すこやか農園造成 平成19年10月 石教研学校課題研究発表会 12月 開校30周年記念式典挙行 平成20年 8月 ミレニアムタイムカプセル開封式 平成21年 3月 環境省「こどもホタルランチャー」優秀賞受賞  1 桜木博物館・すこやか農園活動・桜木学習公園 むかしの生活用具や標本、学習資料などの実物を観たりふれたりする学習、農園活動体験学習を通して生きて働く力の育成をめざす。 また、自然の樹木や昆虫、珍しい植物にふれることにより、豊かな情操を育むことをめざす。 2 国際理解教育 世界の様々な文化や生活様式への認識を深める。 3 地域との連携行事 ・桜木小サミット 地域と自分たちとのつながりをテーマにそって話し合い地域との関わり方を考えさせる。 ・スーパークリーン大作戦 全校児童の手で地域の清掃を行う。 ・コスモス花壇・昔の遊び・ホタルの放流 地域の老人クラブとの花壇作り、昔の遊び体験学習、ホタル飼育・放流を通して地域に親しみ交流を深める。
学 校 全 景		

学 校 名 所 在 地 電 話	 向陽台小学校 若草5丁目1番地 28-2111	 北陽小学校 北陽3丁目9番1号 42-3441
創設年月日	昭和57年4月1日	平成6年4月1日
校 長 名	花 春 美	菊 地 秀 夫
教 頭 名	森 正 彦	武 田 淳
教 職 員 数	教諭 15名 養護教諭 1名	教諭 32名 養護教諭 2名
学 級 数 児 童・生 徒 数	12学級 213名 (うち特殊学級4学級10名)	28学級 946名 (うち特殊学級1学級3名)
面 積	校地 29,161㎡ 校舎 6,759㎡	校地 28,874㎡ 校舎 6,165㎡
教 育 目 標	「明るく豊かな心とたくましい体を持ち、 進んで自らを創造し、実践する子どもの育成」 ・すすんで考える子 ・すなおで思いやりのある子 ・ねばり強く やりぬく子 ・明るく たくましい子	「自分や友達の良さを生かし 心をより豊かにしようとする子どもの育成」 ・思いやりをもち 助け合う子 (情) ・目標に向かって 努力する子 (意) ・自ら学び 深く考える子 (知) ・進んで 体をきたえる子 (体)
学 校 課 題	【人を思いやる心の育成】 ～相手の気持ちになって考え、互いに違いを認め 合って共に生きる広くて優しい心の持てる人間を 育む～	自ら考え、進んで物事に取り組む子どもを育てる
沿 革 及 び 特 色 有 る 教 育 施 策	昭和57年4月1日 新設開校 平成4年10月 開校10周年記念式典挙行 平成5年～ 毎年千歳市や北海道の「花いっぱい コンクール」に応募し、優秀賞・優 良賞・奨励賞等を受賞 平成6年4月 北海道愛鳥モデル校指定 平成9年3月 泉沢小分離 平成10年4月 あおぞら(情緒、知的障害)学級開設 平成11年3月 全道PTA広報紙コンクール優秀賞受賞 平成13年11月 開校20周年を祝う集い 平成14年6月 学校図書館地域開放 平成15年4月 難聴学級開設 平成16年4月 肢体不自由学級開設 平成18年9月 千歳市「花いっぱいコンクール」 最優秀賞受賞 平成19年5月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労 者受賞 平成20年2月 文部科学省指定「小学校における英 語活動等国際理解活動推進事業」公 開研究会開催 平成20年12月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞  1 「花と緑と小鳥の学校」としての植物栽培 (1人1本) 小鳥の世話と観察活動 (小鳥のレストラン経営) 2 異学年集団による交流・体験・奉仕的活動 (向陽っ子 タイム) 3 地域の人材を活かした教育活動 4 地域のお年寄りとの交流 5 図書室の地域開放	平成6年4月1日 新設開校 平成9年3月27日 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年1月19日 増築校舎完成 平成11年・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月5日 プール完成 平成12年・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業 「学社融合推進モデル事業」校 平成14年7月16日 学校図書館地域開放開始 平成15年11月30日 開校10周年記念式典 平成18年5月31日 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年3月21日 増築校舎完成 平成20年3月31日 トイレ増築工事完了 平成21年3月10日 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞  1 平成12～13年度、石狩管内学社融合モデル校に指定 され、学校と地域が手を取り合い、児童のためにそれぞ れの教育力を発揮し、共に高め合う活動も根づいてき た。 2 学校評議員制、学校図書館地域開放、ロビーコンサ ートなど学校を地域に開く教育活動が活発に展開され ている。その成果が着実に上がり、学校と地域の信頼 関係も深まってきている。 3 勇舞地区や上長都地区の宅地開発により、急速に児 童数が増加している。平成19年度は1年生が低学年少 人数研究事業の指定を受け、実践に取り組んでいる。 児童の実態は、純朴で明るく、素直な子が多く、学 習に進んで取り組んでいる。
学 校 全 景		





学 校 名 所 在 地 電 話		泉沢小学校 柏陽2丁目9番地 28-5830
創設年月日	平成9年4月1日	
校 長 名	相馬 彰 仁	
教 頭 名	高 秀 愛 司	
教 職 員 数	教諭	18名
	養護教諭	1名
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	14学級 426名	
面 積	校地 32,022 m <sup>2</sup> 校舎 5,627 m <sup>2</sup>	
教 育 目 標	明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢 ・思いやりをもち、助け合う子 ・ねばり強く、がんばりぬく子 ・進んで学び、深く考える子 ・明るく元気で、たくましい子	
学 校 課 題	共感できる人間関係の中で、自ら学び、考え、良さや可能性を伸ばすことのできる子どもの育成	
沿 革 及 び 特 色 有 る 教 育 施 策	平成9年4月1日 新設開校 平成10年9月19日 泉ザ・ワールド開催 平成11年6月11日 卒業記念植樹 平成12年9月26日 授業自由参観実施（3日間） 12月19日 ケムケム集会 平成13年4月6日 T T及び少人数指導導入 6月6日 学校評議員制度実施 8月10日 コンピュータ42台設置 平成14年11月22日 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年9月29日 英会話学習開始 平成16年10月15日 台風により学校林20本倒木 平成17年4月16日 P T A規約大幅改訂 10月14日 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年5月27日 開校10周年記念大運動会実施 10月6日 開校10周年記念・石教研指定学校 課題研究発表会開催 11月25日 開校10周年記念式典挙行政 平成19年11月28日 全校道徳実施 平成20年2月21日 石狩館内教育実践奨励賞受賞 5月23日 第2回全校道徳実施 平成21年2月2日 「遊々の森」認定書締結式  1 学校・家庭・地域一体となった教育活動の推進 ・いじめ、不登校問題等の連携と迅速な対応 ・体力づくりの推進（異年齢集団活動・全校縦割りでの遊び、学年ブロック単位の記録会） 2 創意を生かし、調和のとれた教育課程の編成と実施 ・個に応じた学習を工夫し、基礎的・基本的な内容の定着 ・特色ある教育活動の取組（自然体験・キャリア教育等） 3 心のふれあいと活動意欲を高める生徒指導 心を揺り動かす学級経営の推進 ・いじめ防止・不登校対策のできる学校 4 日常の授業づくりを大切にされた教育課程編成・実施・管理・5分を大切にされた授業・授業内容の重点化・家庭学習や発展的学習の充実	
学 校 全 景		



## 2 中学校



学 校 名 所 在 地 電 話	 千歳中学校 栄町4丁目35番地 23-3161	 北進中学校 北栄1丁目2番6号 23-3439
創設年月日	昭和22年6月4日	昭和37年4月1日
校 長 名	本 多 総 夫	梅 野 浩
教 頭 名	竹 部 智 幸	村 山 浩
教 職 員 数	教諭 27名 養護教諭 1名	教諭 9名
学 級 数 児 童・生 徒 数	16学級 461名 (うち特別支援学級3学級19名)	知的障がい学級2、自閉症・情緒障がい学級2 計4学級 22名
面 積	校地 25,903 m <sup>2</sup> 校舎 5,665 m <sup>2</sup>	校地 11,341 m <sup>2</sup> (小学校に併設) 校舎 2,607 m <sup>2</sup>
教 育 目 標	柏葉の精神(こころ)を育み 信愛を深める教育  ・豊かな心の育成 ・確かな力の育成 ・健やかな心身の育成 ・広い視野の育成	「21世紀を、自分のよさを発揮し、 広く豊かに生きる子どもの育成」  ・たしかに学ぶ子 ・かかわりをもてる子 ・たくましく生きる子
学 校 課 題	開校60年の伝統・校風を礎に、共に英知と汗で築く新たな千歳中学校	自分のよさを生かす子どもの育成
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	昭和22年 6月 4日 新設開校 昭和26年 3月31日 現在地に移転新築 平成 9年11月16日 開校50周年記念式典挙行 平成12年 2月 9日 北海道教育実践奨励表彰受賞 8月 4日 機械警備センサー設置 平成14年 2月15日 安全対策整備工事完了(玄関オートロック式施設、テレビドアホン等) 平成16年 3月 5日 はまなす学級改修工事完了 平成18年 8月18日 2階東校舎教室改修工事完了  1 学年生徒会による体験的・自主的活動 学年生徒会が、学年の実態に応じて創意工夫して、特に、旅行的行事の企画運営や日常活動にあたる。 ・1年生～野外学習 ・2年生～体験宿泊学習 ・3年生～修学旅行 2 PTA「おやじの会」の活動 ・父親の教育に対する関心を高め、学校との協力体制をつくる。 ・地域交流 環境整備 研修活動 3 アイ・ラブ千歳 千歳市に愛着を感じながら、地域とともに活動する各種ボランティア体験学習。 ・学校花壇づくり(町内会の方々とともに)	昭和35年 5月 5日 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 8日 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転 昭和40年10月 1日 千歳小・千歳中の北栄分校となる 昭和46年 4月 1日 北進中学校として独立 昭和49年 4月 1日 言語治療教室緑小に移設 開校15周年記念式典挙行 昭和58年 4月 1日 情緒障害学級開設 平成 3年 3月 開校30周年・校舎増築・新体育館完成記念式典挙行 平成14年 2月 8日 開校40周年記念祝賀会 平成18年 2月 9日 北海道教育実践表彰受賞  全国的にも希な「特別支援学級のみ」の独立校であり、千歳市特別支援教育センター校としての役割を担っている 1 学級担任制と小・中一貫教育の推進 ・ 養護学校と同じように完全学級担任制を実施 ・ 小学校から中学校への9年間の連続した指導体制 2 「社会参加」「生きる力の育成」を目指した指導の推進 ・ 「生活単元学習」「作業学習」等の「領域・教科を合わせた指導」を基に「生の体験」を通して「課題を解決する力や応用力」「仲間と楽しむ力」を目指した総合的学習の時間の取り組み 3 子どもの思い・保護者のニーズに応じた個別の指導計画表の実施とインフォームドコンセント・アカウントビリティへの取り組み 4 児童の主体的活動としての「自立活動」の推進と子ども・学校支援機関との連携
学 校 全 景		

学 校 名 所 在 地 電 話	 青葉中学校 豊里4丁目1番1号 23-4147	 東千歳中学校 幌加731番地の117 21-3300
創設年月日	昭和32年8月29日	昭和27年4月1日
校 長 名	田 島 郁 夫	佐 藤 久 俊
教 頭 名	古 川 広 光	
教 職 員 数	教諭 26名 養護教諭 1名	教諭 5名 技芸講師 1名
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	15学級 533名	2学級 11名
面 積	校地 26,028㎡ 校舎 6,517㎡	校地 23,108㎡ 校舎 1,985㎡
教 育 目 標	「21世紀の担い手として活躍する 人間性豊かな生徒の育成」 ・すぐれた知性 (知) ・豊かな情操 (徳) ・強じんな意志と体力 (体) ・主体的な行動力 (生きる力)	・確かな学力 (知) ・豊かな心 (情) ・責任ある行動 (徳) ・たくましい心身 (体)
学 校 課 題	課題 「確かな学力と豊かな心の育成」 重点 ・自ら学ぶ「学び方」の指導 ・適切な判断力を持った「行い方」の指導 ・逞しく心豊かに生きる「生き方」	自ら考え、心豊かで、たくましい想像力と個性豊かな生徒の育成 ～地域に根ざした楽しい学校づくり～ 研究主題「主体的・意欲的に学習する生徒の育成」 ～学習過程・学習材・学習方法の工夫を通して～
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	昭和32年 8月29日 千歳中学校より分離 新設開校 昭和47年 1月17日 真町中学校新設のため分離 昭和48年 1月18日 現在地に校舎移転 昭和50年 3月20日 富丘中学校新設のため分離 昭和56年 2月16日 生徒増に伴い増築校舎完成 平成元年 9月18日 はまなす国体軟式野球会場 平成2年 12月5日 プレハブ校舎完成 平成5年 1月15日 コンピューター室完成 平成6年 8月22日 全国中体連剣道大会競技部 平成7年 4月1日 道研情報教育協力校(2年) 平成11年 8月5日 全道中体連卓球大会運営 平成13年 12月28日 グラント防球ネット延長工事 平成15年 11月11日 管内教育機器活用研究発表 平成16年 5月19日 生徒指導総合推進事業実践校 平成18年 2月28日 コンピューター更新 掲揚塔新設 AED設置 平成19年 6月15日 耐震工事、大規模改修工事 平成19年 10月17日 開校50周年式典、祝賀会  1 二学期制 指導と評価の一体化を図った授業の一層の充実を図り、確かな学力と豊かな心の充実を目指した二学期制の推進 2 自治活動 生徒会を中心としたあいさつ運動・GB運動・JJキャンペーン・青葉の一等星・ABマップ等、ユニークな活動を伝統的に展開 3 朝読書 全校朝読書実施5年目を向かい、一日の学校生活が静寂の中からスタート	昭和22年 6月5日 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校 昭和27年 4月1日 東千歳中学校として独立 昭和31年 12月 屋内体育館完成 昭和38年 12月15日 東雲寮完成 昭和45年 12月21日 スクールバス運行開始・東雲寮閉鎖 昭和49年 3月25日 校舎改築完成 昭和51年 3月 防音講堂(屋体)完成 昭和57年 11月23日 開校30周年記念式典挙行 平成4年 7月19日 開校40周年記念事業、パークゴルフ場完成 平成5年 4月1日 学校教育目標改定 7月22日 学校給食センター東千歳調理場閉鎖 平成6年 9月2日 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成 平成7年 2月 コンピューター教室設置 平成18年 1月14日 第5回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成19年 1月10日 第6回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞 平成20年 1月9日 第7回全道壁新聞コンクール「特別賞」受賞  1 ふるさとふれあいパークゴルフ場を利用し、校内パークゴルフ大会や、親子レク、敬老交流会でのお年寄りとの交流を実施 2 毎学期、終業式前に地域のカルタ会の方に読み手をお願いし、カルタ会を開催 3 学校祭に地域のお年寄りを招待 4 各行事で学年縦割りグループを組み、協力と団結のある活動をする 5 総合学習の取り組みとして、「ふるさと再発見コミュニケーションプラン」の実践を続けている。
学 校 全 景		

学 校 名 所 在 地 電 話		駒里中学校 駒里 945 番地の 6 23-3237		真町中学校 真々地 2 丁目 3 番 1 号 23-0131
創設年月日	昭和 31 年 1 月 1 日		昭和 47 年 1 月 1 日	
校 長 名	野 原 大 紀		中 川 剛	
教 頭 名	福 田 幸 一		岡 本 仁	
教 職 員 数	教諭	5 名	教諭 養護教諭	8 名 1 名
学 級 数 児 童 ・ 生 徒 数	2 学級 8 名		3 学級 93 名	
面 積	校地 42,833 m <sup>2</sup> (小学校に併設) 校舎 1,158 m <sup>2</sup>		校地 24,729 m <sup>2</sup> 校舎 3,970 m <sup>2</sup>	
教 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い心を持ち 人と自然を愛する子ども (やさしい子ども)</li> <li>・ 健康な心と身体をもった元気な子ども (元気な子ども)</li> <li>・ 自ら進んで学びとる子ども (進んで学ぶ子ども)</li> </ul>		一人一人に 良さがある 認め合い (共生) 鍛え合い (錬磨) 深め合い (探究) 心豊かで知性あふれる人間を目指そう	
学 校 課 題	1 子ども一人一人のよさや可能性を最大限に引き出し、自己を高める心を育む教育を進める。 2 地域とともに、郷土や学校を愛し、誇りとする教育を進める。		自ら考え判断し、心豊かに自己表現できる 生徒の育成 ～思いやりと意欲あふれる生徒～	
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	昭和25年12月 千歳中学校阿字砂里分校として開校 昭和31年 1月 1日 駒里中学校として独立・小学校併置 平成 8年 9月 開校40周年記念集会挙行 平成10年10月 1日 全道へき地複式教育研究大会開催 平成18年11月 小学校開校100周年 中学校開校50周年記念式典、祝賀会開催 平成20年 8月 全道中体連バドミントン大会女子個人出場  1 地域の自然体験と探究活動を中心とした総合的な学習活動 ・ 前期「農園学習活動」、「自由課題学習活動」の実施 2 体力づくり活動 ・ パークゴルフ、バドミントン (部活動) による体力向上 3 ボランティア活動 ・ クリーン作戦、交通安全キャンペーン、学校祭もちつき会へのお年寄りの招待 4 放課後学習、強化学習による学力の向上 5 読書活動		昭和46年11月 1日 初代校長発令 昭和47年 1月 1日 新設開校 昭和56年11月 1日 開校10周年記念式典挙行 昭和62年 3月 向陽台中分離 平成 3年10月27日 開校20周年記念式典挙行 平成13年10月 6日 開校30周年記念セレモニー開催  1 ボランティア活動 生徒会が中心となり、リングブル、空き缶回収、緑の羽根頭募金など環境や福祉のためのボランティア活動の推進  2 キャリア教育の推進 市内事業所でのインターンシップや林業体験の実施  3 環境保護活動の推進 ・ 校下各地域での全校生徒による清掃活動 ・ 全校生徒と保護者によるままちの丘公園の花壇整備と花いっぱい運動への参加 ・ 森林のはたらきを理解し、植林、枝払いなどの体験学習 (1年生)	
学 校 全 景				

学校名 所在地 電話	 富丘中学校 あずさ1丁目2番1号 24-1188	 北斗中学校 北斗5丁目1番1号 22-4151
創設年月日	昭和50年4月1日	昭和59年4月1日
校長名	墓田 充泰	牛角 貴一
教頭名	橋詰 典明	坂田 達夫
教職員数	教諭 41名 養護教諭 2名	教諭 20名 養護教諭 1名
学級数 児童・生徒数	25学級 899名	12学級 376名
面積	校地 24,729㎡ 校舎 6,190㎡	校地 32,217㎡ 校舎 6,379㎡
教育目標	未来を見つめ、より高さを志向する生徒を育てる ・創造力豊かな生徒を育てる (賢く) ・豊かな心をもち、感動できる生徒を育てる (豊かに) ・自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる (強く) ・身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる (逞しく)	「融和・自律」「誠心・自尊」 ・思いやりの心をもち、正しく判断できる生徒の育成 ・創造性豊かに、自ら進んで学ぶ生徒の育成 ・命を大切に、たくましく生きる生徒の育成 ・広い視野に立ち、世界に目を向ける生徒の育成
学校課題	自ら意欲をもち、みつけ、考え、実践し、豊かな心を持つ生徒の育成 (研究主題) 「基礎基本を生かし意欲的に学習する生徒の育成」	主体的に考え、ねりあい、課題解決にせまる授業づくり (研究課題) 「主体的に学習に取り組む生徒の育成」
沿革 及び 特色ある 教育施策	昭和50年 4月 1日 新設開校 昭和57年 3月25日 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 昭和59年10月28日 開校10周年記念式典挙行 昭和60年 3月28日 全日本リコーダーコンテスト三重奏・合奏両部門金賞受賞 平成元年 3月 4日 リコーダー部門三重奏部門「文部大臣奨励賞」受賞 平成 7年 1月12日 全国書初め展団体優勝 11月25日 開校20周年記念式典挙行 平成 8年 3月28日 全日本リコーダーコンテスト三重奏・合奏両部門金賞受賞 平成16年 3月 6日 リコーダー部 文部科学大臣奨励賞受賞 平成17年12月 3日 開校30周年記念式典挙行 平成18年 8月 8日 札幌地区吹奏楽コンクール金賞受賞 8月 5日 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年 8月21日 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 10月16日 仮設校舎設置 平成20年 3月30日 全日本リコーダーコンテスト銀賞受賞 平成21年 3月29日 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 1 地域の自然や文化、人材を生かした教育活動 ・千歳市における「グローバルスクール事業」の活用 ○ ボランティア活動の推進 ○ 富丘中学校区小学校訪問 ・総合的な学習の時間 (1年郷土学習、2年職業体験学習、福祉の課題学習) 2 読書活動充実の工夫 朝読書の実施、1万ページ運動、新刊図書リクエスト	昭和59年 4月 1日 新設開校 7月14日 プール完成 昭和60年10月17日 全道放送研究会・研究発表開催 昭和61年 2月20日 校舎増築完成 平成元年11月17日 石教研究学校課題研究発表会開催 平成 2年 3月 7日 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成 5年11月 コンピューター室設置 平成 6年11月19日 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会第3位 平成 8年 6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月14日 開校20周年記念式典挙行 平成19年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞受賞 平成21年 3月29日 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 ・体験的活動を重視した校外研修 ・職業調べ、職場体験学習、福祉体験学習 2 生徒の自主的態度を育成する活動 ・生徒会を中心とした自主的なボランティア活動 ・生徒会が中心となった行事や集会の運営 ・前庭花壇づくり ・部活動の活発化 3 地域や家庭との連携を図った、地域に根ざした活動(北斗ふれあいサークル) ・茶道、学校農園活動、陶芸、食育に関する講座、フォーラム等、各種サークル活動 4 読書活動の充実 ・朝読書の実施
学校全景		



学 校 名 所 在 地 電 話		向陽台中学校 若草5丁目5番地 28-4286
創設年月日	昭和62年4月1日	
校 長 名	近 藤 馨	
教 頭 名	武 岡 則 夫	
教 職 員 数	教諭 養護教諭	20名 1名
学 級 数 児 童・生 徒 数	11学級 379名	
面 積	校地 29,082 m <sup>2</sup> 校舎 5,549 m <sup>2</sup>	
教 育 目 標	校訓「創造・友愛・健康」 ・知性を磨き 創る人 ・広く絆を 結ぶ人 ・理想を求め 励む人 ・気高く強く 生きる人 ・すすんで道を 拓く人	
学 校 課 題	<p>&lt;研究主題&gt; 確かな学力を身につけるための学習指導のあり方 ～学力の向上を目指し、自ら学ぶ力を伸ばす指導～</p> <p>&lt;研究内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中に話し合い活動をどう取り入れるか</li> <li>・話し合い活動の中で、どう生徒の積極性を引き出していか</li> <li>・各教科における言語活動の充実、コミュニケーションと言葉が結びついた言語の表現</li> </ul>	
沿 革 及 び 特 色 あ る 教 育 施 策	<p>昭和62年 開校式 7学級273名 平成 2年 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成 5年 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成 6年 コンピューター教室設置、ラグビー部全道優勝 平成 9年 野球部全国大会出場 石教研・千歳振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成11年 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年 開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成19年 第1回「河口」発表会 平成20年 第2回「河口」発表会 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化活動を創造する生徒 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情操豊かな心の育成のための「朝読書」</li> <li>・文化の創造（合唱・壁画・点描・壁新聞・行灯、等）</li> <li>・創意工夫した掲示活動（調査発表物、美術作品、等）</li> </ul> </li> <li>○ ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇づくり等、環境美化の推進</li> <li>・校区内外の清掃、除雪等</li> </ul> </li> <li>○ 向中 FESTIVAL（文化の集い・スポーツの集い） <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化、体育などの成果の総合的発表の場</li> </ul> </li> <li>○ 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会、発表会等の公開 ・地域行事への生徒の参加</li> <li>・地域の人材活用大作戦 ・「スーパーPTA」計画</li> <li>・「河口」合唱練習会、発表会</li> </ul> </li> </ul>	
学 校 全 景		

### 3 幼稚園

(平成21年5月1日現在)

学校法人・幼稚園名	所在地	電話	認可定員	就園者数	預かり保育	給食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	〒066-0041 千歳市清水町4丁目25番地	23-2331	120	94	○	○
千歳栄光学園 千歳第2幼稚園	〒066-0037 千歳市新富1丁目6番21号	23-3586	140	120	○	○
千歳学園 メリー幼稚園	〒066-0027 千歳市末広5丁目1番6号	23-3329	280	238	○	○ (週2)
千歳学園 第2メリー幼稚園	〒066-0034 千歳市富丘4丁目13番20号	23-5735	275	277	○	○ (週2)
西越学園 くるみ幼稚園	〒066-0082 千歳市幸福1丁目847番地	23-4559	230	230	○	○
千歳青葉学園 千歳青葉幼稚園	〒066-0015 千歳市青葉5丁目13番7号	23-3998	150	84	○	○ (週3)
富士学園 千歳わかば幼稚園	〒066-0039 千歳市富士2丁目5番6号	23-9253	170	98	○	○ (週3)
富士学園 第2わかば幼稚園	〒066-0078 千歳市勇舞1丁目4番1号	23-2200	280	189	○	○ (週3)
つくし学園 千歳つくし幼稚園	〒066-0035 千歳市高台2丁目3番11号	23-0203	300	317	○	○ (週3)
つくし学園 向陽台つくし幼稚園	〒066-0057 千歳市若草5丁目3番地の1	28-2123	210	175	○	○ (週3)
計10幼稚園			2,155	1,822		

## 4 高等学校

学 校 名 所 在 地 電 話	 北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 23-9145	 北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 24-2818
校 長 名	遠 藤 龍 一	宮 前 邦 夫
学 級 数 生 徒 数	(全日制) 普通科 国際教養科・国際流通科 計 27学級 1,073名 (定時制) 普通科 4学級 95名	全日制普通科 21学級 772名
沿 革	<p>昭和23年10月30日 道立野幌高等学校千歳分校として 設立認可</p> <p>昭和25年 3月31日 北海道月寒高等学校千歳分校となる</p> <p>昭和25年 4月30日 千歳町立北海道千歳高等学校設置 許可</p> <p>昭和29年 4月 1日 道立移管</p> <p>昭和33年10月 4日 創立10周年記念式典挙行</p> <p>昭和43年 9月22日 創立20周年記念式典挙行</p> <p>昭和53年 9月24日 創立30周年記念式典挙行</p> <p>昭和62年 3月 定時制商業科閉科</p> <p>平成 6年11月 8日 大韓民国空港高校姉妹提携</p> <p>平成 7年 7月,12月 大韓民国空港高校と相互交流開始 (平成10年及び11年一時中断)</p> <p>平成11年 4月 国際教養科・国際流通科開設</p> <p>平成11年11月 6日 創立50周年・校舎改築落成記念 式典挙行</p> <p>平成12年 9月 アメリカ合衆国ジェームズブリナー高 校と相互交流開始</p> <p>平成14年 3月31日 第2体育館完成</p> <p>平成15年 4月 1日 全日制普通科1間口減</p> <p>平成20年 創立60周年記念事業(記念看板設置 航空写真撮影、校歌CD作成)</p>	<p>昭和48年 4月 1日 開校</p> <p>昭和51年 7月15日 文部省教育課程研究開発校指定</p> <p>昭和57年11月13日 創立10周年記念式典挙行</p> <p>平成 4年10月18日 創立20周年記念式典挙行</p> <p>平成 7年 2月13日 道路交通量調査実践により北海道 社会貢献賞受賞</p> <p>平成14年11月 9日 創立30周年記念式典挙行</p> <p>平成15年 4月 1日 2学期制導入</p> <p>平成16年 4月 1日 学校目標改訂</p> <p>平成18年 4月 1日 校訓制定</p> <p>平成19年 4月 2日 文部科学省キャリア教育調査研究 推進校指定</p> <p>平成20年12月25日 千歳科学技術大学との連携・協力に 関する協定</p>

## 5 大学・各種学校

学校名	所在地	電話	学科・入学定員
 千歳科学技術大学	〒066-8655 千歳市美々758 - 65	27-6001	総合光科学部 240名 バイオ・マテリアル学科 光システム学科 グローバルシステムデザイン学科  (大学院) 光科学研究科 光科学専攻 博士前期課程 20名 博士後期課程 3名
 日本航空専門学校	<千歳キャンパス> 〒066-8622 千歳市泉沢 1007 番地の 95  <白老キャンパス> 〒059-0904 白老町東町 2 丁目 1 番 5 号	28-1155	(3年制課程) 航空整備科 126名 (一等航空運航整備士コース) (二等航空整備士コース) (二等航空運航整備士コース) (システムコース) (技術コース)  (2年制課程) 空港技術科 グランドハンドリングコース 80名 航空観光ビジネスコース 40名
 北海道千歳リハビリ テーション学院	〒066-0055 千歳市里美 2 丁目 10 番	28-5331	(昼間部・3年課程) 理学療法学科 80名 作業療法学科 40名



## 〔4〕 就学の助成

### 1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っている。

#### (1) 学用品費等援助

区分	年度	18年度実績		19年度実績		20年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	962	13,366,740	967	13,491,747	949	13,355,757	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	306	3,518,770	286	3,346,730	307	3,501,980	
	新入学児童生徒学用品費等	124	2,467,600	117	2,328,300	136	2,706,400	
	修学旅行費	165	2,722,536	164	2,736,045	183	3,243,155	要保護を含む
	校外活動費	147	396,214	179	436,140	150	357,030	宿泊学習
	学校給食費	962	39,962,215	967	40,344,410	945	40,070,115	
	計		62,434,075		62,683,372		63,234,437	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	433	10,452,494	486	11,949,498	508	12,707,644	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	78	2,831,400	72	2,613,600	75	2,722,500	
	新入学児童生徒学用品費等	143	3,274,700	178	4,076,200	160	3,664,000	
	修学旅行費	144	8,698,496	139	8,489,106	152	9,313,003	要保護を含む
	校外活動費	121	407,729	146	617,988	188	788,010	宿泊学習
	学校給食費	431	20,785,215	486	23,882,320	506	25,309,050	
	計		46,450,034		51,628,712		54,504,207	
合計		108,884,109		114,312,084		117,738,644		

**(2) 医療費援助**

年度 区分		18年度実績		19年度実績		20年度実績	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額
小学校	要保護児童	14	388,665	8	266,300	14	552,150
	準要保護児童	49	531,809	53	436,720	53	504,374
	計	63	920,474	61	703,020	67	1,056,524
中学校	要保護生徒	6	124,170	4	102,100	4	266,700
	準要保護生徒	24	284,955	24	241,591	27	345,986
	計	30	409,125	28	343,691	31	612,686
合 計		63	1,329,599	89	1,046,711	96	1,669,210

## 2 特別支援教育助成

### (1) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っている。

区分	年度	18年度実績		19年度実績		20年度実績		備考
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	60	425,930	57	401,621	55	391,754	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	13	143,405	24	226,435	16	174,340	
	新入学児童生徒学用品費等	7	69,650	10	99,500	5	49,750	
	修学旅行費	10	68,658	7	51,263	8	64,105	
	校外活動費	14	15,746	13	16,444	29	24,652	宿泊学習
	学校給食費	60	1,264,780	57	1,212,278	55	1,183,858	
	通学費	88	738,874	86	675,047	84	626,803	
	計		2,727,043		2,682,588		2,515,262	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	29	351,196	33	400,637	25	308,545	宿泊を伴わない
	体育実技用具費	7	127,050	10	181,500	7	127,050	
	新入学児童生徒学用品費等	7	80,150	10	114,500	7	80,150	
	修学旅行費	5	139,750	12	295,338	8	217,292	
	校外活動費	5	7,460	2	3,138	4	6,245	宿泊学習
	学校給食費	28	706,837	33	824,043	25	637,876	
	職場実習・交流学习交通費	4	1,674	9	3,580	6	2,937	
	通学費	15	327,310	16	390,460	12	193,140	
計		1,741,427		2,213,196		1,573,235		
合計		4,468,470		4,895,784		4,088,497		

## (2) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給している。

区分		年度	18年度実績		19年度実績		20年度実績	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	
小学校	特別支援学級	137	4,575,000	146	5,021,000	143	4,911,000	
	特別支援学校等	11	447,000	12	614,000	13	701,000	
	計	148	5,022,000	158	5,635,000	156	5,612,000	
中学校	特別支援学級	31	1,452,000	39	1,714,000	32	1,536,000	
	特別支援学校等	9	624,000	5	336,000	9	594,000	
	計	40	2,076,000	44	2,050,000	41	2,130,000	
合計		188	7,098,000	202	7,685,000	197	7,742,000	

### 3 奨学金制度

経済的理由により就学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金の利子をもとに、奨学金を支給している。

#### (1) 資格要件

- ① 千歳市内に住所を有すること
- ② 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- ③ 学資に乏しいこと
- ④ 学業優良及び素行善良であること

#### (2) 奨学金額

(平成21年4月1日改定)

区分	対象	金額
高校生等	高等専門学校生（1年生から3年生）	月額7,000円以内
	高校生	
	専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）	
大学生等	大学生（短期大学含む）	月額10,000円以内
	高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科）	
	専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）	

#### (3) 奨学基金現在高

59,912,968円（平成21年3月31日現在）

#### (4) 支給実績

年度 区分	19年度			20年度		
	応募者	受給者	支給金額(円)	応募者	受給者	支給金額(円)
高校生等	44	25(※24)	1,475,000	60	25(※24)	1,460,000
大学生等	26	15	1,260,000	25	15	1,260,000
合計	70	40	2,735,000	85	40	2,720,000

※H19年度は1名、11月交付分より休止（途中退学のため）

※H20年度は1名、8月交付分より休止（市外転居のため）

## 4 私立幼稚園助成

### (1) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助している。

(20年度実績)

対象園児数	補助金交付額
1,912人	10,516,000円

### (2) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設及び改築する場合の借入金に対する利子補給金を補助している。

利子補給補助金の額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）を10年間を限度として補助している。

(20年度実績)

区分	対象幼稚園	補助金交付金額
建設	1園	11,983円
防音	—	—
計	1園	11,983円

### (3) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助している。

(ただし、1園当たり15万円を限度とする。)

(20年度実績)

対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
4園	9人	450,000円

### (4) 私立幼稚園連合会研修費補助金

連合会が行う教員研修に対し、研修参加教員1人当たり5,500円を限度に補助している。

(20年度実績)

参加教員数	補助金交付額
94人	373,258円

### (5) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する児童の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付している。

(20年度実績)

就園奨励費	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児	1,683人	129,184,900円
2歳児受入	58人	3,297,600円

## 〔5〕学校保健

児童生徒の健康保持、体力増進を図るため、指導の強化、設備の充実に意を配するとともに学校医及び学校歯科医・学校薬剤師等による定期健康診断、心臓病検診、尿検査さらに施設診断など健康管理には十分留意している。

### 1 児童生徒の体位(平成 20 年度)

			身長cm		体重kg		座高cm	
			男	女	男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	117.0	116.2	21.9	21.5	64.9	64.6
		全道	117.0	116.6	21.7	21.6	64.9	64.8
		全国	116.7	115.8	21.5	21.0	65.0	64.6
	7歳	千歳市	121.9	121.6	23.9	24.0	67.2	67.0
		全道	122.4	122.2	24.2	23.7	67.5	67.3
		全国	122.5	121.7	24.2	23.6	67.7	67.3
	8歳	千歳市	128.4	127.5	28.0	27.0	70.5	70.0
		全道	128.5	127.6	28.2	27.3	70.6	70.1
		全国	128.2	127.5	27.3	26.6	70.3	70.0
	9歳	千歳市	134.3	133.0	31.8	30.3	72.7	72.2
		全道	134.0	134.4	32.4	31.2	72.9	73.1
		全国	133.7	133.6	30.8	30.1	72.8	72.8
10歳	千歳市	139.4	140.7	35.3	35.6	74.9	76.1	
	全道	139.8	141.5	36.4	36.5	75.4	76.5	
	全国	138.9	140.3	34.3	34.4	75.0	76.0	
11歳	千歳市	146.1	147.5	39.7	40.3	78.0	79.0	
	全道	145.8	147.1	40.2	40.6	78.1	79.5	
	全国	145.3	146.8	38.8	39.3	77.8	79.3	
中学生	12歳	千歳市	153.1	152.0	45.1	45.0	80.9	81.8
		全道	154.2	152.5	47.2	45.3	82.2	82.5
		全国	152.6	152.1	44.5	44.2	81.4	82.2
	13歳	千歳市	161.0	155.2	50.9	47.8	85.4	83.8
		全道	161.3	155.5	51.6	48.8	85.8	83.9
		全国	159.8	155.1	49.5	47.7	85.0	83.8
	14歳	千歳市	166.2	157.1	55.2	50.8	88.4	84.9
		全道	166.4	157.0	56.3	51.4	88.6	85.1
		全国	165.4	156.6	54.9	50.4	88.2	84.9

## 2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

(給付実績)

(件)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
18年度	小学校	134	96	91	74	395
	中学校	100	199	221	141	661
	計	234	295	312	215	1,056
19年度	小学校	97	76	97	89	359
	中学校	137	213	155	80	585
	計	234	289	252	169	944
20年度	小学校	109	92	79	84	364
	中学校	117	205	139	91	552
	計	226	297	218	175	916



## 〔6〕 学 校 給 食

### 1 学校給食の状況

学校給食事業は、「学校給食法」等に基づき、昭和39年から共同調理方式により実施され、週5回（米飯3回、パンまたは麺類2回）の完全給食となっている。

現在の食生活における問題点は、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題が生じていることである。

学校給食は家庭における食事とあいまって、成長期にある児童生徒が1日に必要な栄養量を摂取できるよう、その食事内容が決定されている。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所属団体	氏名
人権擁護委員	高師 典子
千歳市総務部長	長谷川 豊
泉沢小学校長	澁谷 重昭
真町中学校長	金森 英幸
泉沢小学校教頭	高秀 愛司
保護者	前田はるみ
保護者	野崎 美香
千歳医師会・学校医	石坂 明人

(平成21年3月31日現在)

### 2 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置して、運営全般にわたる審議をしている。

また、給食米については、平成13年1月から千歳産の「ほしのゆめ」を購入するなど、「千産千消」に努めている。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、平成21年4月1日から民間事業者に委託することにより、衛生管理や労働安全について一層の徹底を図る。

### 3 学校給食の重点事項

学校及び家庭との連携を図るため、「学校給食事務担当者会議」を開催して、献立に関する意見やスムーズな給食事務処理方法などについて協議を行っている。

また、正しい食習慣を養い、楽しく安全な給食とするため学校と家庭の連携を強化し、学校給食指導の充実を図るために計画的な学校訪問を実施している。

### 4 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地 千歳市流通3丁目1番地の11 電話 23-3591 FAX 23-3599  
 開設年月 平成5年8月  
 敷地面積 8,995.46 m<sup>2</sup>  
 建物面積 2,660.25 m<sup>2</sup> 鉄骨造2階建

### 5 給食校及び配食数

学 校 数			配 食 数				米飯回数
総 数	小学校	中学校	総 数	小学校	中学校	教職員	
26	17	9	9,032	5,689	2,834	509	週3回

(平成21年5月1日現在)

## 6 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費 (円)		年間給 食回数
					月額	年間	
小学校 (低)	68.85	132.72	39.43	241.00	3,720	44,640	185回
小学校 (高)	73.15	146.42	39.43	259.00	4,000	48,000	
中学校	79.70	176.87	39.43	296.00	4,570	54,840	

## 7 栄養基準

		エネルギー (kcal)	たんぱ く質 (g)	カルシ ウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				
						レチノ ール ( $\mu$ g)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)	
小 学 校	低 学 年	学校給食基準量	610	18.0	325	2.65	135	0.40	0.45	21
		千歳市の献立	666	24.0	344	2.40	292	0.50	0.52	26
	高 学 年	学校給食基準量	715	22.5	375	3.50	155	0.45	0.50	24
		千歳市の献立	693	27.8	360	2.70	310	0.53	0.54	27
中 学 校	学校給食基準量	850	28.0	420	4.00	210	0.60	0.60	33	
	千歳市の献立	800	31.0	383	3.30	327	0.59	0.88	30	



千歳市学校給食センター

## [7] 生徒指導

### 1 不登校児童生徒数 (病気・けが以外で1カ月に14日以上休んだことが1回でもあった児童生徒)

	19年度	20年度	増減
小学校	11 (男 6 女 5)	18 (男 8 女 10)	+7
中学校	100 (男 40 女 60)	63 (男 32 女 31)	-37
計	111 (男 46 女 65)	81 (男 40 女 41)	-30

※長期欠席は小学校が7名増加、中学校は37名の減少となった。

※小学校は半分の児童が学校復帰をした。

### 2 非行事故件数

	19年度	20年度	増減
小学校	40	28	-12
中学校	51	59	+8
計	91	87	-4

※小学校においては、集団による万引き(お菓子)の報告が多い。

※中学校においては、万引き・飲酒・喫煙の報告が多い。

### 3 その他の統計

	19年度	20年度	増減
いじめ	23	16	-7
交通事故	18	16	-2
一般事故	38	9	-29
不審者	31	34	+3
不審電話	4	2	-2

※不審者・不信電話においては、減少傾向にある。

※一般事故が、増加傾向にある。

### 4 相談業務対応種別件数

相談種別	19年度	20年度	増減
電話で対応した相談	52	34	-18
来訪で対応した相談	35	95	+60
訪問で対応した相談	0	1	+1
その他の方法で対応した相談	54	5	-49
合計	141	135	-6

※電話、来訪相談ともにいじめ・不登校に関する相談が多い。

※保護者からの相談が多い。

## 5 不登校児童生徒のための学校適応指導教室『おあしす』について

### (1) 設置の目的

不登校児童生徒の増加と多様化に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設した。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指している。

### (2) 指導の方針

- ① 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活の立ち直りを図り、心の開放を促す。
- ② 体験的活動や集団活動を通して、いろいろなことに興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。
- ③ 家庭や在籍校、各関係機関（子育て推進課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

### (3) 入級対象児童生徒

千歳市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒

### (4) 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

	19年度	20年度
小学校	0	1（男0女1）
中学校	14（男4女10）	17（男9女8）
計	14（男4女10）	18（男9女9）

### (5) 開設時間

月～木 9:30～14:30

金 9:30～12:00

### (6) 活動内容

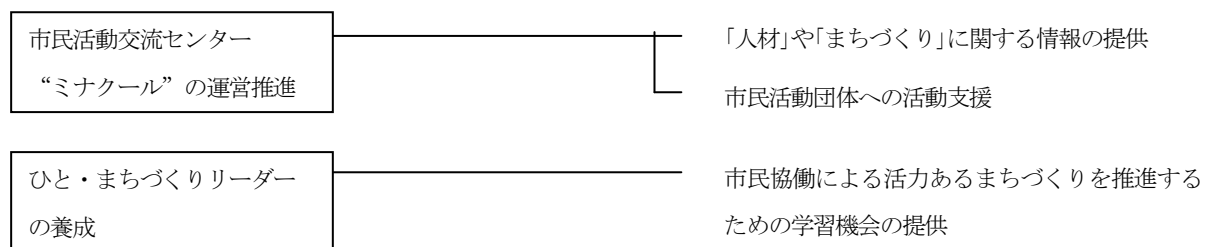
- ・個別活動 児童生徒が立てた計画にしたがって活動を行い、必要に応じてスタッフの援助を受ける。
- ・学習時間 個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。
- ・マイタイム 「目的を持って活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。
- ・集団活動 児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

### 20年度に実施した主な集団活動

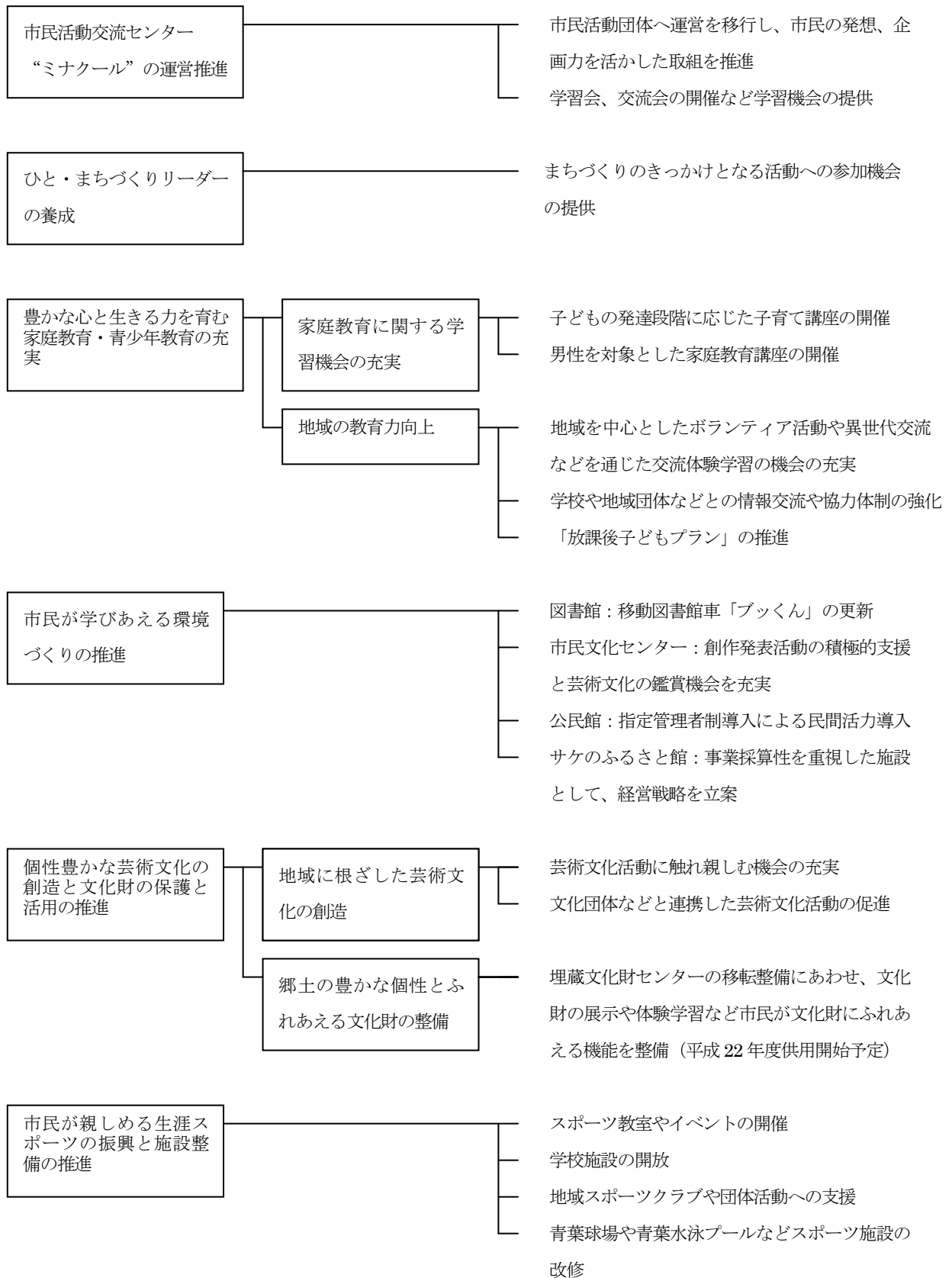
- ・各種スポーツ バスケット、バドミントン、ミニバレー、卓球、パークゴルフ、ドッジボール、歩くスキー等
- ・コミュニケーション活動 各種話し合い(行事の事前学習・相談・準備・調理実習)、新任教諭交流会、適応指導教室交流会（スポーツ等）、クリスマス会、卒業生を送る会、お別れ会
- ・文化・学習活動 図書館の活動、映画鑑賞、書道教室、そば打ち教室等
- ・自然体験 農園作業、野外炊飯、札幌モエレ沼公園、札幌芸術の森
- ・社会体験活動 ボランティア活動（青葉公園ごみ拾い）札幌テレビ（STV）局等
- ・宿泊研修 ネイパル洞爺（2泊3日）
- ・制作活動 調理実習、クラフト、陶芸、農園看板作り等

## VI 社会教育

### 〔1〕生涯学習の主な施策



## 〔2〕社会教育の主な施策



### 〔3〕 社会教育委員・公民館運営審議会委員

#### 1 社会教育委員

氏 名	所 属 団 体
村 井 政 孝	退職校長会
早 川 法 子	千歳おやこ劇場
高 浜 正 行	千歳市校長会
石 谷 克 彦	千歳北陽高等学校
松 本 千 恵 子	千歳市女性団体協議会
小 川 洋 司	千歳市 PTA 連合会
鴨 林 三 枝	千歳市文化団体連絡協議会
磯 貝 孝	千歳市体育協会
内 村 喜 郎	千歳市町内会連合会
尾 本 則 子	千歳市子ども会育成連合会
赤 堀 美 智 子	国際ソロプチミスト千歳
木 山 志 眞 子	おはなしぐるんぱ
増 井 康 子	(社) 千歳社会福祉協会向陽台保育園
浜 一 穂	泉沢向陽台スポーツクラブ事務局長
野 田 善 郷	千歳市体育指導委員協議会

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

#### 2 公民館運営審議会委員

氏 名	所 属 団 体
鈴木 武士	前生涯学習推進主任アドバイザー
菅原 明子	公民館教室講師
伊藤 好晃	公民館教室講師
数藤 和子	文化団体連絡協議会
藤井 宏	千歳市ボランティアセンター
内山 雅夫	千歳市子ども会育成連合会
日高 洋子	千歳市レクリエーション協会
田村 光正	千歳市町内会連合会
濱邊 典子	千歳市女性会議

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

### 〔4〕 社会教育の対象

千歳市は道央の中核的都市として人口が着実に増えている、北海道で平均年齢が一番低い若い市である。

平成 17 年国勢調査によると、千歳市の第 3 次産業の従事者は全就業者の 77.0%を占め、中でも公務従事者が 22.6%と全道でもその割合が多い都市となっている。これは、陸空自衛隊の駐屯によるもので、性比（女子 100 人に対する男子の数）は 105.7、生産年齢人口（15～64 歳）は 69.5%と高い比率を示している。

このほか、千歳市は工業団地進出企業、空港関係、そして自衛隊を含む公務員従事者が多いことから人口異動が極めて激しく年間に約 12,000 人もの人々が転出入している。このような、道内他都市にはみられない特有の人口形態のなかで、千歳市の社会教育は展開されている。

## 〔5〕社会教育事業（平成20年度）

事業名	開催月日	会場	対象	趣旨
ママさん教室	5月～7月 9月～11月	市民文化センター等	母親と幼児等	子育て中の母親たちを対象に、子どもの発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供し、また地域ぐるみで子育てを行うために支援する人材を育成・活用する。
10代からの子育て応援セミナー	8月、12月、 1月、3月	市民文化センター等	市民	思春期の子どもを持つ親や思春期を迎える子を持つ親を対象に、親としてのあり方等について学習する機会を提供する。
男性のための子育て講座	7月、8月、 10月、2月	市民文化センター、青葉公園等	父親（保護者）と子ども	講義や実践を通じて、父親としてのあり方や子どもとの関わり方について考え、男性の家庭教育への参画促進を図る。
子育て講座（出前子育て講座）	年11回 （出前講座：随時）	地域集会施設、事業所等	子育てサークル、事業所等	子育て中の親に限らず、多くの市民に、地域ぐるみで子育てを支援することの大切さについて考える機会を提供し、地域における家庭の教育力向上を図る。
家庭教育講演会	6月、12月	総合福祉センター等	市民	
子ども放送局 チャレンジ教室	年10回 （出前講座：随時）	市民文化センター等	小・中学生 （出前講座各5名以上）	ものづくりなどを通しての体験活動の機会を提供する。あわせて、地域ぐるみで子どもの育成をしていくために子ども活動を支援する人材を育成・活用する。
千歳市・指宿市青少年相互交流事業	8月2日 ～5日 12月23日 ～26日	千歳市 ⇔ 鹿児島県指宿市	小学校6年生	未来ある子どもたちの交流を通して姉妹都市の友好関係が発展するよう相互交流を行う。
子ども活動支援センター	4月～3月	教育委員会生涯学習課内	ボランティア （15歳以上）	青少年の奉仕活動・体験活動の機会充実を図るため、情報提供やコーディネートを行い青少年活動の推進を図る。
世代交流ふれあい教室	2校	北陽小学校 千歳小学校	校区内の児童・地域住民	青少年や地域の人々などの異世代・異年齢による体験学習や交流機会の充実を図り、地域における世代を超えた交流と相互理解の場を提供する。
市民教養セミナー	5月～3月 （年15回）	市民文化センター等	市民	社会の急激な変化に対応した市民の学習ニーズに応えるとともに学習機会を提供する。



事業名	開催月日	会場	対象	趣旨
パソコン講習会	4月～3月 (年50回)	市民ギャラリー IT講習室	市民	情報化に積極的に対応していけるようパソコンの操作技術の習得機会の提供を、市民団体との協働により実施する。
千歳学出前講座	随時	公共施設等	市内に在住、通学、勤務している5名以上の団体	市民と市民の学びあいによる学習活動や交流の活発化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働してまちづくり(生涯学習によるまちづくり)を推進する。
若返り学園	4月～3月	市民文化センター等	60歳以上の市民	明るく健やかに豊かで生きがいのある生涯を送るために必要な学習機会を提供する。
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	市民文化センター等	概ね60歳以上の市民	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。
英語暗唱コンテスト	10月	総合福祉センター	中学生以上	一番身近な外国語である英語により国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成する。
英会話教室	2月～3月	市民文化センター等	高校生以上	
千歳市民文化表彰	11月4日	ホテル日航千歳	市民	市の文化の向上・振興を図るために、顕著な功績があった個人・団体等を表彰する。
はたちのつどい	1月12日	市民文化センター	新成人	市民成人が社会人として自覚を持ち、社会との関わりや青年として果たすべき役割の認識を高める契機とする。
社会教育関係団体登録・人材バンク登録及び情報提供事業	通年		市民	市民の自主的な学習活動や社会参加活動を支援するために活動団体や指導者を登録し情報提供する。
放課後子ども教室推進事業	6月以降週1回	北栄小学校	北栄小学校在籍児童	放課後の子どもたちの安全で健やかな活動拠点を整備し、学習やスポーツ・文化活動の実施、また、地域の大人たちとの交流を図る。

## 〔6〕文化財

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっている。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれる。

遺跡は主に千歳川やその支流、長都川、ユカンボシ川流域などで発見され、平成 20 年 4 月までに 286 遺跡にのぼり、国指定史跡 2 カ所、重要文化財 3 件、市指定史跡 1 カ所、有形文化財 3 件がある。

埋蔵文化財以外では、近世江戸時代から現代までの歴史、文化を伝える市指定有形文化財 3 件、無形文化財 1 件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財 1 件が指定されている。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。

所管：千歳市教育委員会埋蔵文化財センター 千歳市上長都 958-1 電話 24-4210

### 1 国指定史跡

#### (1) ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越（昭和 54 年 5 月 23 日指定）

市街地から約 5km、支笏湖に向かう途中に全国の「名水百選」に選ばれたナイベツ川がある。全長わずか 2.5km の小さな川であるが、約 7,000 年前の縄文時代早期からこの川を中心に人々が暮らし始めた。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残され、現在は川の両岸に残る 21 カ所の遺跡を中心に 146ha におよぶ広大な範囲が史跡として保護されている。



ウサクマイC遺跡見学コース入口

#### (2) キウス<sup>しゅうていぼくぐん</sup>周堤墓群 千歳市中央（昭和 54 年 10 月 23 日指定）

市内の中央地区で、約 3,000 年前の縄文時代後期につくられたお墓を見ることができる。地面を丸く掘り、掘った土を周囲に土手状に積み上げ、内側を墓地にしている。

周囲に堤があることから「周堤墓」と呼ばれるこのお墓は、全部で 8 基あり、一番大きなものは土手の直径が 75m に及び、仮に 1 人が 1 日 1×1×1m の穴を掘ったとして、25 人でおおよそ 4 カ月かかることになる。

指定面積は約 5 万㎡、地表面から確認できる日本一大きな縄文時代のお墓である。



キウス周堤墓群

## 2 国指定重要文化財

### (1) 動物形土製品 どうぶつがた どせいひん 昭和 51 年美々4 遺跡出土 市所有 (昭和 54 年 6 月 6 日指定)

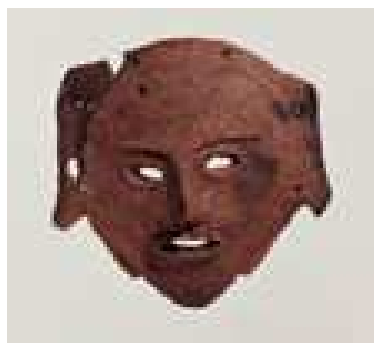
頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしている。全長 31.5 cm、最大幅 16.2 cm、最大厚 9.8 cm、中は空洞で全身に美しい模様が描かれている。約 2,500 年前の縄文時代晩期につくられたもので、図書館の郷土資料コーナーに複製品を展示している。

### (2) 土製仮面 どせい かめん 昭和 61 年ママチ遺跡出土 国所有 (昭和 63 年 6 月 6 日指定)

ママチ川のほとりで発掘された約 2,300 年前の縄文時代晩期のお墓から発見された。縦横 18cm で、ちょうどお祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさであり、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表している。当時この土面は墓標に付けられていたと考えられている。実物は江別市の北海道埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を図書館の郷土資料コーナーに展示している。



動物形土製品



土製仮面

### (3) 北海道美々8遺跡出土品 千歳市美々 (平成 17 年 6 月 9 日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8 遺跡 (低湿部) の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする 1,164 点の出土品である。

出土品は、調査を実施した (財) 北海道埋蔵文化財センターにおいて保管され、一部が展示されている。

## 3 国指定重要無形民俗文化財

### (1) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会 (平成 6 年 10 月 26 日指定)

「アイヌ」とはアイヌ語で「人間」という意味を持つことばである。アイヌの人々は豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいた。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」がある。千歳地方で傳承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤイサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されている。



## 4 市指定文化財

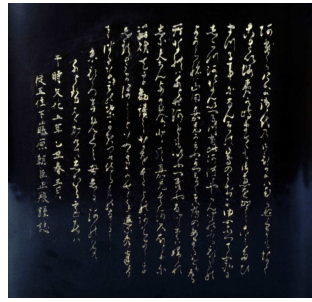
### (1) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 かまかじんじやべんざいてん み ず し 有形文化財 千歳神社所有(昭和46年9月16日指定)

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きなくぼみ」という意味の「シコツ」と呼ばれていた。文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並 山田鯉兵衛嘉充(やまだりへえよしみつ)が箱館奉行の羽太正稜(はぶとまさやす)に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名された。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに記されている。

図書館の郷土資料コーナーに複製品を展示している。



釜加の厨子(表)



厨子背面に書かれた由来文

### (2) 蕨手刀 わらびてとう 有形文化財 市所有(昭和55年7月21日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。柄の部分の形が春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれている。

この種の刀は1,300年ほど前の東北地方の遺跡から多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっている。一振りは鞘が残っている大変珍しい例で、図書館の郷土資料コーナーに展示している。



蕨手刀

### (3) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758番地 市所有(昭和52年4月23日指定)

およそ1万2千年前、粘土を焼いて作った器「縄文土器」が作られるようになる。当時はやや寒冷な気候であったが、その後次第に温暖化が進み、氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなった。

その結果、海岸線は平野の奥まで入り、千歳では美々駅のあたりまでが海であった。それは、現在の苫小牧の海岸から17kmも内陸となる。

暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入江ができて良い漁場となった。美々では約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し、貝殻を直径4m、高さ1.2mも積み上げた貝塚を残した。昭和51年より公開展示している。



美々貝塚



(4) **磨製石棒** 有形文化財 市所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

キウス周堤墓群のひとつのお墓から見つかった石の棒。

長さ 57cm、重さ 710g で、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られている。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れている。約 3,000 年前の縄文時代後期に作られたもので、現在は図書館の郷土資料コーナーに展示している。



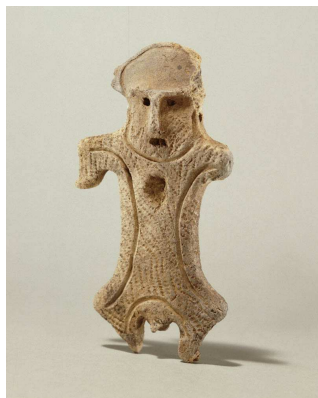
磨製石棒

(5) **男性土偶** 有形文化財 市所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

蘭越の内別川付近で見つかった板状の人形 (=土偶) で、眉や鼻などの顔の表現がママチの土製仮面とよく似ている。縄文時代の土偶はほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるとして全国でもたいへん珍しいものである。全長 14.5cm、厚さ 0.9cm、縄文時代晩期に作られたと考えられており、現在は図書館の郷土資料コーナーに展示している。

(6) **駅通看板** 有形文化財 新保義美氏所有 (昭和 52 年 4 月 23 日指定)

明治 5 (1872) 年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月 6 回ずつ郵便物を運んだ。その時に千歳で郵便局 (郵便取扱所) となったのが新保旅館であり、当時を伝える縦 120cm、横 94cm の看板が大切に保存されている。



男性土偶



駅通看板

(7) **泉郷獅子舞** 無形文化財 泉郷獅子舞保存会 (昭和 54 年 10 月 25 日指定)

市街地から北東へ車で 15 分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯がある。原野だった泉郷は、明治 20 (1887) 年に開拓が始まるが、獅子舞は富山県から入植した人々が同 29 年頃に伝えたとされている。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年 9 月に泉郷神社に奉納されるが、その勇壮さは今も人々の心をかきたてている。



泉郷獅子舞

(8) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会

(平成5年5月20日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウエペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタルペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われている。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

歌と踊り：ホリッパ（輪踊り）・ハラルキ（鶴の舞）・ヤイサマ（即興の歌）・ウボボ（座り歌）

語り：ユカラ（神謡・口承の英雄・神話伝説）・ウエペケレ（昔話）

祭祀：カムイノミ（神様を迎える儀式）・イチャルパ（先祖の慰霊祭）

工芸技術：イナウケ（イナウ作り）イクバシイ作りなどの男に伝わる技術  
チタラペ（ゴザ）・刺繍やマタンブシ（鉢巻）作りなど女に伝わる技術

料理：シト（団子）・シケレペ（キハダの実の料理）など



模様入りのチタラペ・刺繍が施された着物とマタンブシ



アシリチェップノミにつくられたヌサ（祭壇）

(9) <sup>やませんてつきょう</sup>山線鉄橋 有形文化財 市所有（平成11年8月24日指定）

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられた。大正12（1923）年、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されていた。

平成7～9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的な保存が図られた。

現在は、「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっている。



山線鉄橋

## 遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	末広遺跡 (380年前) フレドイヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ  (800年前)
江戸	アイヌ	
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
奈良	続縄文	蕨手刀 (1,300年前) ふ化場1遺跡 ママチ高台遺跡  (2,000年前)
古墳	縄文時代	
弥生		
縄文時代	晩期	ママチ遺跡 梅川3遺跡
	後期	男性土偶、土製仮面 動物形土製品 キウス周堤墓群、石棒
	中期	丸子山遺跡環壕 イヨマイ6遺跡
	前期	美々貝塚 (10,000年前)
	早期	メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡 (20,000年前) 柏台1遺跡 祝梅三角山下層遺跡 丸子山遺跡
旧石器時代		

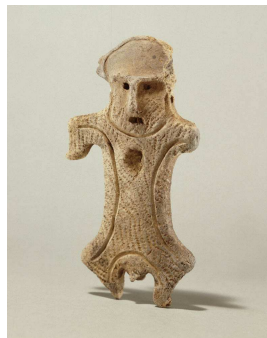
### 末広遺跡



擦文時代の竪穴式住居跡が102軒も発見された、道内でも屈指の遺跡です。

近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

### 男性土偶



国指定史跡のウサクマイ遺跡群(蘭越)があるナイベツ川近くで見つかった板状の男性土偶です。

眉や鼻など、顔の表現が土製仮面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、はっきり男性と分かるのは、全国的にもたいへん珍しい例です。



### 美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ(山の神=ヒグマ)の頭骨が祭られています。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。





### キウス周堤墓群

縄文時代後期末（3,200 年前）の集団墓地で、7 基がまとまっています。

最大のもは外径 75m、内径 34m、土手の高さが 5.4m もあり、今も地表面で確認できるお墓としては日本最大です。国の指定史跡です。



### 磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは 57cm あります。両頭に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



### 祝梅下層遺跡

### 美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



### ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下 2m で発見された丸木舟です。長さ 7.3m、幅 50cm で、堆積した地層から 18 世紀以前のものとわかります。





## 〔7〕 社会教育施設

### 1 千歳市立図書館

#### (1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 2196 番地の 1	電話	26 - 2131
開設年月日	昭和 63 年 2 月 1 日		
規模	建築構造	R C 造及び S R C 造の併用構造地上 2 階地下 1 階	
面積	敷地面積	13,062.08 m <sup>2</sup>	
	建築面積	2,233.873 m <sup>2</sup>	
	延床面積	1 階	2,130.256 m <sup>2</sup>
		2 階	380.140 m <sup>2</sup>
		地下 1 階	305.190 m <sup>2</sup>
			合計 2,815.586 m <sup>2</sup>

#### (2) 沿革

昭和 25 年 6 月に札幌 C I E 図書館千歳分館として図書 2,100 冊の寄贈を受け発足した。29 年に千歳公民館の開館に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37 年には千歳市民会館内に移転し、名称も公民館図書室となった。その後 46 年に千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称された。

49 年市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体、個人から数多くの図書が寄贈された。図書室はめざましく充実し、その結果 51 年 4 月に待望の市立図書館が誕生することになった。53 年から図書館分室を 3 カ所設置（平成 6 年度閉室）した。

その後、図書室は利用者数、蔵書の増加により狭隘となり、現在の場所に新築することが決定し、60 年度基本設計・実施設計を経て 61 年 7 月工事着工、62 年 11 月竣工、63 年 2 月に開館した。また、平成 6 年 4 月には待望の移動図書館車「ブックン」の運行を開始する。

インターネットの普及により 13 年 1 月に図書館ホームページを開設。16 年 4 月千歳駅市民サービスセンターの開設により、図書の取次ぎを開始。翌 17 年 2 月には 3 支所においても図書の取次ぎを始め、同年 4 月からはインターネットによる図書の予約受付を開始した。

また、子どもの読書環境の整備・充実に向けて 17 年 11 月に「千歳市子どもの読書活動推進計画」を策定。18 年 8 月には「千歳市子どもの読書活動推進連絡会」を設置し、「千歳市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱」を制定する。

19 年 4 月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、経費削減や行政の効率化・サービスの向上を目指し、指定管理者が管理・運営を行っている。

#### (3) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

#### (4) 事業実績(20年度)

・上映会 (27 回)	330 人	・おはなし会 (98 回)	2,035 人
・古典文学読書会 (23 回)	144 人	・子どもの読書週間記念行事 (1 事業)	49 人

- ・手作り絵本教室（5回） 112人
- ・千歳市民文芸合評会（1回） 17人
- ・読書週間記念行事（1事業） 65人
- ・開館記念行事（1事業） 274人
- ・千歳子ども読書活動推進連絡会（3回） 52人
- ・童話創作講座（6回） 85人
- ・ふるさとポケット協賛事業（2事業） 927人
- ・市民読書グループ支援（33回） 155人
- ・まちの魅力発見壁新聞コンクール 53人 19作品

**(5) 利用案内**

- ① AVコーナーは、LDやDVD・CDを主体とし、音と画像、映像による資料を個人で見たり聴いたりすることができるコーナー。  
 収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で10,663タイトルを用意している。
- ② AV室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事（講演会、映画会、おはなし会等）を行うところで、収容人員は約100名。
- ③ 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架群を配置し、12万冊の収蔵能力をもっている。
- ④ 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー（小学校高学年、中学生向）、閲覧席、軽読書席、書架群、おはなしコーナー（読み聴かせ、紙芝居等用）がある。4万冊の収蔵能力をもっている。
- ⑤ 新聞・雑誌コーナーは、新聞、雑誌、パンフレット等が置いてある軽読書のコーナーである。
- ⑥ 閉架書庫は、10万冊の収蔵能力をもち書架は、スチール製集蜜移動書架を設置している。
- ⑦ 会議室は、読書会等の主催事業、来客用応接室に設置され、収容人員は約60名。

**(6) 図書状況**

	開館日数	貸出人数	一日平均貸出人員	貸出冊数	一日平均貸出冊数	登録者数	市民一人当たり貸出冊数
20年度	337	127,036	377	675,920	2,006	2,223	7.32

**(7) 蔵書冊数**

20年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,472	7,372	19,132	28,900	18,131	17,456	
分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他		
冊数	6,732	18,960	3,995	104,958	10,663	37,689		

**(8) 分類別貸出冊数**

20年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,445	21,347	28,892	37,928	32,127	80,652	
分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他		
冊数	16,614	48,748	7,493	238,151	9,284	148,239		



千歳市立図書館

## 2 千歳市立千歳公民館

### (1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 176 番地の 3	電話 23 - 2740
開設年月日	昭和 46 年 4 月 10 日	
規模	建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 2 階建
	面積	敷地面積 2,930.50 m <sup>2</sup>
		建築面積 750.44 m <sup>2</sup>
		延床面積 1,573.88 m <sup>2</sup>
	会議室 5 室	23.46 m <sup>2</sup> ~68.40 m <sup>2</sup>
	和室 1 室	44.40 m <sup>2</sup>
	講習室 1 室	54.00 m <sup>2</sup>
	大集会室 1 室	499.30 m <sup>2</sup>

### 分館

分館名	延面積	開館年月日	備考
泉郷分館	353.16 m <sup>2</sup>	昭和 24.04.10	S54 増築
協和分館	108.54 m <sup>2</sup>	昭和 24.10.01	S48 改築
長都分館	368.55 m <sup>2</sup>	昭和 25.05.01	S59 増築
新川分館	208.68 m <sup>2</sup>	昭和 28.08.18	H16 新川連合会館
中央分館	609.87 m <sup>2</sup>	昭和 30.11.01	H11 コミセン
幌加分館	124.21 m <sup>2</sup>	昭和 36.11.01	S56 改築
根志越分館	223.56 m <sup>2</sup>	昭和 37.09.24	S55 改築
東丘分館	149.85 m <sup>2</sup>	昭和 37.11.01	S57 改築
釜加分館	608.68 m <sup>2</sup>	昭和 38.03.01	H9 コミセン
駒里分館	268.92 m <sup>2</sup>	昭和 43.10.01	S63 増築
長都開拓分館	169.29 m <sup>2</sup>	平成 07.04.01	

### (2) 沿革

昭和 22 年に千歳小学校の一部を借り新設、29 年には東雲町に独立した公民館を開設した。37 年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称された。その後、46 年 4 月に現在地に移転独立し、新築開館され現在に至っている。

平成 20 年 4 月からは、民間による経営ノウハウを活用し、経費削減や行政の効率化・サービスの向上を目指し、指定管理者が管理・運営を行う。



### (3) 運営方針

- ① 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
  - ・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
  - ・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- ② 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
  - ・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
  - ・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- ③ 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
  - ・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
  - ・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(4) 公民館教室開講状況(平成 20 年度)

	昼間教室		夜間教室		
	教室名	人員(名)	教室名	人員(名)	
千歳公民館	太極拳	35	英会話中級	21	
	三味線入門	9	英会話初級	33	
	実践英会話	21	パソコン入門	11	
	たのしいフォークダンス	10	タップ	16	
	やさしい英会話	17	きもの着付	7	
	やさしいウクレレ	5			
	木彫	15			
	囲碁	16			
	パソコン教室	7			
	パソコン基礎講座	20			
	パソコン応用編	6			
	ステップアップパソコン・水	13			
	ステップアップパソコン・木	20			
	リンパセラピー	19			
市民文化センター	ハワイアンダンス	24	ストレッチ体操	26	
	ふっくらパン	27	社交ダンス	42	
	3B体操	35	気功(錬功十八法)	31	
	野菜ソムリエのお料理教室	22	体質改善エアロ	30	
	ヘルシー体操	28			
	ストレッチ体操	38			
	陶芸	11			
市民ギャラリー	粘土工芸	9	書道	20	
	書道	26			
	バッチワーク	8			
	絵画(油絵)	14			
	絵手紙	14			
昼間教室 合計		計 469名	夜間教室 合計		計 237名
総計 36 教室、706 名 (男性 121 名、女性 585 名)					

(5) 公民館利用状況(平成 20 年度)

公 民 館			分館 (11 分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	4	167	青少年	60	747
社会学級	4	360	社会学級	144	2,096
婦人学級	1	4	婦人学級	62	509
文化関係	1,010	11,920	文化関係	287	5,536
スポーツ	115	2,165	スポーツ	14	70
集会・会議	43	2,454	集会・会議	230	2,397
その他一般	33	12,192	その他一般	88	1,445
計	1,210	29,262	計	885	12,800

### 3 千歳市民文化センター

#### (1) 施設の概要

所在地	千歳市北栄2丁目2番11号	電話26 - 1151
開設年月日	昭和59年4月1日	
規模	建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下2階
	敷地面積	16,492.42㎡
	建築面積	6,870.10㎡
	延床面積	4階 1,396.26㎡ (大会議室、展示ホール、小会議室)
		3階 2,763.00㎡ (大ホール、視聴覚室、中会議室)
		2階 2,973.62㎡ (中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室)
		1階 4,260.84㎡ (リハール室、プラネタリウム、控室)
	地下1階	74.84㎡ (電気、機械室)
	地下2階	1,274.20㎡ ( // )
	塔屋	272.92㎡ ( // ) 合計 13,015.68㎡

#### (2) 沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年度に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日全館供用を開始した。

平成10年1月から3月にかけて、大・中ホールの音響、照明の改修整備を行った。

平成17年4月から1年間休館してリニューアル工事による改修整備を行い、18年4月7日全館供用を開始した。

施設は、大ホール(客席1,275)、中ホール(客席412)、会議室、視聴覚室、調理教室等研修室、プラネタリウム投影室などを備え、開館以来、公演事業、興行、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されている。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、経費削減やサービスの向上を目指し、指定管理者が管理運営を行っている。

#### (3) 運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努める。

#### (4) 主催・主管事業(20年度)

##### プラネタリウム事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
プラネタリウムラウンジ	1月11日	73	西オーストラリア交響楽団のチェロ奏者4人を迎え、FMノースウェーブのDJによる進行で、チェロ四重奏とオーストラリアの星空を投影。

### 自主文化事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
展示ホール 嶋田 忠写真展	通年	—	展示ホールの利用者がいない期間を利用して、月毎に写真を選定し展示。
春風コンサート	4月11日	128	東京藝術大学音楽部卒業見込の若手五重奏と元札幌のヴィオラ奏者による演奏。
劇団さっぽろinちとせ ホシコ 星をもつ馬	6月8日	119	劇団さっぽろによる、戦時中を題材とした悲しさ・戦争の悲惨さを伝える演劇を上演。
2008スカイピア&YOSAKOI in千歳	7月20日	—	FMノースウェーブを活用し、ピアフェスタ会場でラジオ放送ブースを設置。
日本映画inちとせ2008	8月14日 15日	254	往年の日本映画を低価格で提供・上映。
レ・フレール piano Pittoresque	9月24日	1,213	財団法人北海道文化財団の自主文化助成事業を活用して、レ・フレール（兄弟二人）の連弾ピアノコンサートを開催。
札幌団員によるオータムコンサート	10月17日	176	現役札幌団員によるノンノン・マリア弦楽四重奏を開催。
人形劇「ちゅう太とからくりねずみ」&読み語り	2月11日	130	人形劇と読み語り「赤帽さん」を上演。公演後に人形作りの体験コーナーを設置。
美空 ひばりフィルムコンサート	2月22日	386	昭和の歌姫、美空ひばりの舞台コンサートを映像フィルムで上映。
三遊亭貴楽独演会	3月1日	151	千歳市在住の落語家による上映。

### 文化交流事業

事業名	開催日	入場者数	趣 旨
舞台裏体験ツアー	8月1日	9	子ども達を対象に、普段見ることの出来ない舞台裏を開放。
親子手作りお菓子教室	8月8日	20	人気のパティシエを招き、親子参加型によるお菓子作りを实践。
オーケストラ体験教室	12月13日	44	オーケストラのリハーサルを市民に公開し、楽器の説明などオーケストラを身近に体験。
クリスマスファミリーコンサート	12月14日	816	千歳フィルハーモニーオーケストラと、歌手の桜庭和氏によるコンサートを開催。

### (5) 利用案内

- ① 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板（電動）を採用するなど全国有数の音響機能を有している。  
昭和60年4月には、札幌交響楽団により黒沢明監督「乱」の音楽収録が行われた。
- ② 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置している。

- ③ プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。
- ④ 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75名程度の研修が可能。
- ⑤ 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できる。
- ⑥ 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっている。
- ⑦ 陶芸教室は、土練機、電動ロクロ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行える。

**(6) 利用状況(20年度)**

施設区分	大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計	
利用件数	918	264	2,960	127	4,269	
利用 件数 の内 訳	式典	68	25	209	-	302
	講演・集会	112	58	228	-	398
	会議・研修等	128	27	1,274	-	1,429
	邦楽・邦舞	63	30	209	-	302
	洋楽・洋舞	503	111	468	1	1,083
	演劇	9	2	4	-	15
	映画	2	3	0	-	5
	公民館教室	-	-	281	-	281
	プラネタリウム	-	-	-	126	126
	展示・その他	33	8	287	-	328
利用人数	78,766	23,628	66,253	2,774	171,421	



市民文化センター

## 4 千歳市民ギャラリー

### (1) 施設の概要

所在地	千歳市千代田町5丁目7番地の1	電話42 - 5214
開設年月日	平成7年4月15日	
規模	建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
	面積	敷地面積 746㎡ 建築面積 594㎡ 延床面積
	4階	594㎡ (市民活動交流センター「ミナクール」、生涯学習課、女性団体協議会、交流室)
	3階	594㎡ (研修室、事務室)
	2階	530㎡ (展示ホール2)
	1階	573㎡ (展示ホール1)
	地下1階	83㎡ (空調・給排水・ボイラー室)
	塔屋	44㎡ (エレベーター機械室)
	合計	2,418㎡

### (2) 沿革

千歳市4期総合計画「人間性と個性を培う“教育文化都市・ちとせ”」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実を図るため、平成7年4月15日に全館供用を開始した。

19年4月からは、民間業者による経営ノウハウを活用し、経費削減やサービスの向上を目指し、指定管理者が管理運営を行っている。

### (3) 運営方針

市民文化センターの分館として位置付け、市民の文化活動の拠点となるよう、芸術文化の創造や発表の機会を積極的に提供する。

### (4) 自主文化事業(20年度)

事業名	開催月日	入場者数
菊池 又男・関川 弘道作品展	8月16日～8月21日	156
北海道現代具象展	9月15日～9月19日	268
志村 貞雄油彩展	10月1日～10月7日	216
嶋田 忠収蔵写真展	2月18日～2月26日	285
嶋田 忠最新写真展	3月11日～3月17日	407
第13回千歳北陽高等学校校外展	3月20日～3月21日	143

### (5) 利用案内

- ① 展示ホールは、1階 260㎡、2階 261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われている。
- ② 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えている。



る。

**(6) 利用状況(20年度)**

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		224	568	792
利用 件数 の内 訳	研修・講習	23	382	405
	展示	193	5	198
	公民館教室	0	181	181
	その他	8	0	8
利用人数		17,707	5,559	23,266



千歳市民ギャラリー

## 5 千歳市民活動交流センター 「ミナクール」

### (1) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 千歳市民ギャラリー4階 電話：24-0847  
 開設年月日 平成18年8月1日  
 施設設備 打合せ・交流スペース、作業スペース、情報スペース、掲示スペース、図書スペース、展示スペース、相談窓口  
 利用時間 9：00～21：00  
 休館日：毎週月曜日、月の最終金曜日、年末年始

### (2) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置された。

### (3) 利用案内

(対象) 市民活動をしている団体、個人 (使用料) 無料 (印刷機等一部有料)

### (4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課

### (5) 利用状況(20年度)

(単位：人)

総利用者数	利用室別							
	打合せ コーナー	交流 コーナー	談話室兼 児童室	図書 コーナー	作業 コーナー	情報 コーナー	展示 コーナー	見学・ 相談
7,779	2,447	1,440	1,245	33	908	273	114	1,319



千歳市民交流センター「ミナクール」

## 6 千歳市青少年会館

### (1) 施設の概要

所在地	千歳市東雲町1丁目10番地	電話	23-1945
開設年月日	昭和44年12月1日		
規模	建築構造	鉄骨造一部2階建	
面積	敷地面積	704.60 m <sup>2</sup>	
	延床面積	体育室	231.12 m <sup>2</sup>
		研修室(1)	38.43 m <sup>2</sup>
		研修室(2)	49.41 m <sup>2</sup>
		和室	11.07 m <sup>2</sup>
		事務室	27.45 m <sup>2</sup>
		その他	141.07 m <sup>2</sup>
		合計	498.55 m <sup>2</sup>

### (2) 沿革

北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設された。

### (3) 利用案内

(対象) 児童生徒及び学生、勤労青少年 (使用料) 無料

### (4) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課

### (5) 利用状況(20年度)

(単位：人)

総利用者数	利用者別			利用室別			
	勤労青少年	児童生徒	その他	体育室	集会室	研修室	その他
10,426	-	7,692	2,734	9,064	570	792	0



千歳市青少年会館

## 〔8〕財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 42-3001  
設立年月日 昭和57年3月12日

### 1 設立目的

千歳市における青少年の健全育成や社会教育の普及振興を図るための事業のほか、社会教育関係施設の設置及び管理運営に関する事業を行い、北海道の社会教育の振興に寄与する。

### 2 主な事業内容

- (1) 青少年及び市民のための社会教育の学習講座を開設し、講習会、展示会その他事業を開催し、関係事業に協力する。
- (2) 青少年教育事業その他の教育に関する情報資料を収集・調査研究し、市民に提供する。
- (3) 『千歳サケのふるさと館』を設置し、維持運営する。
- (4) 千歳市の指定を受けて、千歳市サーモンパークの管理を行う。
- (5) 青少年及び市民のための社会教育資料を刊行する。
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯する事業を行う。

### 3 千歳サケのふるさと館

#### (1) 施設の概要

所在地	千歳市花園2丁目312番地	電話	42-3001
開設年月日	平成6年9月10日		
規模	建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階	
	面積	敷地面積	2,981.672 m <sup>2</sup>
		建築面積	1,510.580 m <sup>2</sup>
		延床面積	1階 1,249.822 m <sup>2</sup>
			2階 847.306 m <sup>2</sup>
			3階 84.488 m <sup>2</sup>
		地下1階	810.621 m <sup>2</sup> 合計 2,992.237 m <sup>2</sup>

#### (2) 沿革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は1896年に設置され、世界に例を見ないユニークな施設である。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核である淡水魚水族館施設として建設された。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図る。

#### (3) 利用案内

支笏湖から流れ出る冷たく清澄な水をたたえた千歳川のほとりに建てられた施設は、サケと北の淡水魚の一大ミュージアムである。

館内にはいろいろな種類のサケの仲間や、イトウ、シロチョウザメなど大型淡水魚が悠々と泳ぐ巨大水槽をはじめ、サケの生涯や生態が観賞できる大型マルチビジョンなど様々な施

設があり、サケや淡水魚の生態を楽しく学ぶことができる。また、1級河川千歳川に直接設けられた水中観察窓は世界でもまれな施設で、四季の移ろいととも自然の川を往来するいろいろな魚を見ることができる。

特に秋は、産卵のために上るサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設となっている。

(4) 利用者数(20年度) 158,867人

(5) 入場料

	個人	団体(20人以上)	障がい者	さーもんず会員	賛助会員
大人	800円	640円	400円	500円	1,000円
高校生・大学生	500円	400円	250円	300円	1,000円
小学生・中学生	300円	200円	150円	200円	500円
幼児	無料	無料	無料	—	—

※さーもんずカード及び賛助会員はカード発行日から1年間何度でも入館することができます。

※さーもんずカード会員は千歳市民(千歳市内の事業所に勤務する者を含む)、賛助会員は千歳市民以外を対象とします。

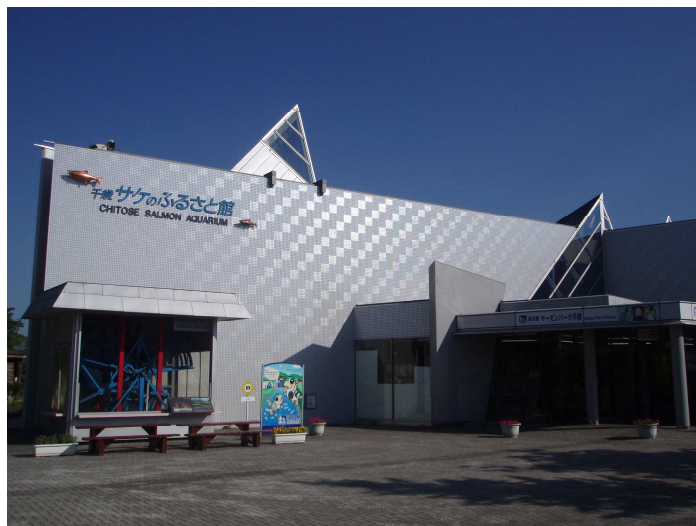
(6) 開館(期間中無休)

- ① 開館期間：1月8日～12月25日
- ② 開館時間：9:00～17:00

4 主催事業・主管事業(20年度)

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣旨
サマースクール	7月31日 8月1日	千歳サケのふるさと館	小学4～中学3年生 20名	水族館宿泊型の体験学習会として、水族館の裏側体験や給餌体験、開館前準備としての水槽掃除体験、川で自ら採集した水生昆虫による子ども水族館づくりなどを行った。
サーモンスクール	9月22日 9月23日	千歳サケのふるさと館	小学4～中学3年生 24名	水族館宿泊型のサケに特化した学習会として、水槽への親サケ搬入体験、サケの皮剥ぎとクラフト製作、サケ鍋作り、サケ採卵実習などを行った。
サタデースクール(全26回)	第2、第4土曜日	千歳サケのふるさと館	合計555名	サケや水生生物・自然環境・水族館など、各テーマに沿った体験教室、講習会を実施した。
フライ作りとキャスティング体験	8月4日	千歳サケのふるさと館	小学4～中学3年生 6名	水生昆虫を模した疑似針「フライ」の作成と、実際に竿を使ってフライを投げる「キャスティング」体験を行った。
千歳川水辺の昆虫	7月27日	千歳サケのふるさと館	小学3～中学3年生 7名	専門家による「北海道のトンボ」のお話し、トンボを中心とした千歳川に生息する水生昆虫の採集や観察学習会を行った。
夏休み千歳川水辺の昆虫	8月9日	千歳サケのふるさと館	小学3～中学3年生 26名	水質測定の基本的な技術を学んだうえでの千歳川での水質の測定やフィールドでの水生昆虫の採集、川流れ体験を行った。
ジュニア・リーダー講習会(全3回)	4月21日～12月2日	市民文化センター、恵庭青少年研修センター	小学5年生から 83名	子ども会の中心的な役割を果たすリーダーを育成し、地域の子ども会活動の発展を図ることを目的に実施した。
シニア・リーダー研修会	3月22日 3月23日	北海道立青年の家(深川市)	シニア・リーダー 19名	シニアリーダー自らが実施する各種行事や事業について、その企画立案・運営方法などを学ぶことを目的に実施した。

事業名	開催月日	会場	対象・参加	趣 旨
自然教室	8月7日～9日	国立日高青少年自然の家、徳別博物館地球体験館	小学4～中学3年生 38名	夏休みを有意義に過ごすとともに、集団生活と自然の豊かさを学ぶことを目的に、焼き板クラフト、水生昆虫の採集と観察、川でのラフティング、ドッチビーなどを行った。
冬休みなんでも体験教室	1月9日～11日	砂川青少年自然の家、札幌青少年科学館、札幌市防災センター、雪印資料館	小学4～中学3年生 40名	冬休みを有意義に過ごすとともに、集団生活と様々な体験を通して知識を深めることを目的に、写真立てを作成する創作活動、うどん作り、地震・消火・煙避難体験、乳製品の製造過程見学などを行った。
パソコン実用講座	通年	千歳サケのふるさと館	合計219名	市民活動組織である「IT市民の会」が実施するワード・エクセル・デジタルカメラに関連したパソコン教室を開催した。
緑の村キャンプ大会	7月28日～8月5日	青葉公園ピクニック広場	地域子ども会会員とその父母	宿泊共同生活や野外活動、自然とのふれあいを通して青少年の健全育成を図ることを目的として実施した。
千歳の子どもクリスマス集い	12月16日	北陽小学校	小中学生 189名	シニアリーダーつばさが中心となり、学校や学年の異なる子ども達がクリスマスの集いを通して相互の親睦を深めることを目的に実施した。
ちとせっこ雪あそび	2月 3日	サーモンパーク内イベント広場	小中学生 187名	子ども達の冬季の戸外での運動を促進し、雪中競技を通しての交流を図ることを目的として実施した。
カナダの子ども達とのサケ学習交流会	10月21日	千歳サケのふるさと館	カナダの子ども 12名とシニアリーダーつばさ	千歳市ボランティア通訳クラブ、千歳サケのふるさと村教授会の支援を受けて、北海道サーモン協会が招聘したカナダの子ども達と千歳の子ども達の交流会として、サケの皮剥ぎ・サケ皮でのケリ製作・サケを使った日本料理の昼食会などの国際交流を実施した。



千歳サケのふるさと館

## Ⅶ 社会体育

体育・スポーツは本来、市民が自分のために自主的にその適性或健康状態に応じて行い楽しむものである。

近年、余暇の増大、生活環境の中で運動不足、都市化によるコミュニケーションの欠如などにより、あらためて、スポーツのもつ重要性が認識されつつある。

本市ではこうした状況から、「スポーツ都市宣言」をスローガンにスポーツを愛しスポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、だれでも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめるよう「体育施設の充実・整備」「だれでも参加できるスポーツ行事」「地域スポーツグループの育成援助」「指導者の育成」等を行い、日常生活の中に体育・スポーツが定着し、これを楽しむことができるよう諸条件の整備にとりくみ、さらには多様化する活動に対応した生涯スポーツの推進に努めている。

### スポーツ都市宣言(昭和45年6月29日)

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- 4 スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

### 千歳市社会体育基本目標

「広げよう！ ふれあいの輪を」  
たくましい心身を育むスポーツ、レクリエーションの推進

(社会体育具現目標)

- 1 スポーツを楽しみ進んでレクリエーションに参加する市民
- 2 自然に親しみ寒さに負けない体力づくりに励む市民
- 3 スポーツをとおして約束ごとを守る市民
- 4 スポーツをとおして友情を育むところ豊かな市民
- 5 家庭ぐるみでスポーツやレクリエーションを楽しみ明るい地域づくりのできる市民

〔1〕 社会体育事業(平成 20 年度)

事業名	開催月日	会場	対象	趣 旨
シニア卓球教室	4月	スポーツセンター	60歳以上初心者 247名	卓球の初歩的技術を身につけラリーが続くことで楽しいと感じてもらい、教室終了後も引き続き仲間で競技を継続し心身の健康を維持し、また、卓球の普及拡大を図る。
トランポリン教室 かつら	4月～5月	スポーツセンター	小学4・5・6年生 276名	トランポリンは人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 つつじ	9月	スポーツセンター	小学3年生 209名	トランポリンは人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 やませみ	10月	スポーツセンター	小学2年生 244名	トランポリンは人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
トランポリン教室 ひめます	10～11月	スポーツセンター	小学1年生 241名	トランポリンは人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
弓道教室	5月～6月	武道館	高校生以上 99名	弓道の基礎的な知識及び技能の概要を体得し、弓道の楽しさを理解すると共に健全な心身を養う。
バドミントン教室	6月	スポーツセンター	中学生以上 175名	バドミンントンのゲームを通して協力、協調の精神を理解させ、相互の親睦と健康の増進を図る。
スナッグゴルフ	7月	遺跡公園ほか	小学生以上 19名	ニュースポーツの楽しさを体験し、ゴルフ入門としての普及を図る。
ジュニア卓球教室	7月～8月	スポーツセンター	小学生 198名	卓球の初歩的技術を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
4歳児教室	8月	スポーツセンター	4歳(H17.4.2～H18.4.1生)148名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。
テニス教室	11～12月	スポーツセンター	社会人 324名	テニスの基礎的技術を身につけ、テニスの楽しさを理解し、テニスの普及を図る。
幼児スケート教室	1月	青空公園 スケートリンク	5歳(H16.4.2～H17.4.1生) 156名	スケートを通して、幼児の心身の発達と集団生活に必要な協調性の習得を図ると共に、冬季においてスポーツを楽しむ習慣を養う。
歩くスキー教室	1月	青葉公園内 キリンビール 工場敷地内	小学生以上 21名	寒冷地の冬を楽しく過ごすため、歩くスキーの普及を図る。
5才児教室	3月	スポーツセンター	5歳 155名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。

(主催：財団法人千歳市体育協会)



## 〔2〕 学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ている。

### 1 体育館

#### (1) 使用申込み

利用希望団体は、利用しようとする月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

#### (2) 開放期間

(開放期間) 4月～3月  
(開放時間) 平日 17:00～21:00  
土・日・祝日・学校の休業日 9:00～21:00

#### (3) 開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

### 2 グラウンド

#### (1) 使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに、教育委員会スポーツ課スポーツ施設係まで申し込む。(受付：土・日・祝日を除く、9:00～17:00)

#### (2) 開放期間

(開放期間) 5月～10月  
(開放時間) 平日 5:00～7:00 17:00～19:00  
土・日・祝日・学校の休業日 5:00～19:00

#### (3) 開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

### 3 利用状況

#### (1) 利用人数

(単位：人)

年度	体育館	グラウンド	計
18	112,518	52,471	164,989
19	120,504	57,106	177,610
20	119,400	57,321	176,721

#### (2) 種目別利用状況(平成20年度)

体育館種目別利用状況(単位：%)

バスケットボール	23.1
バレーボール	8.7
ミニバレーボール	9.0
空手	7.3
バドミントン	7.6
剣道	1.5
卓球	0.6
その他	42.2

グラウンド種目別利用状況(単位：%)

野球	76.0
サッカー	23.6
その他	0.4

(3) 開放校及び開放期間

	体育館	グラウンド
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小・ 千歳第二小・支笏湖小・日の出小・ 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小・ 向陽台小・北陽小・泉沢小・北進小中・ 駒里小中  千歳中・青葉中・東千歳中・真町中・ 富丘中・北斗中・向陽台中	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小・ 千歳第二小・支笏湖小・日の出小・ 信濃小・高台小・祝梅小・桜木小・ 向陽台小・北陽小・泉沢小・駒里小中  千歳中・青葉中・東千歳中・真町中・ 富丘中・北斗中・向陽台中

[3] 社会体育施設

1 千歳市温水プール

(1) 施設の概要

所在地	千歳市流通3丁目1番9号 電話 49 - 7001
開設年月日	平成10年7月20日
規模	建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階地下1階
面積	敷地面積 7,712.63 m <sup>2</sup> 延床面積 1階 2,766.254 m <sup>2</sup> (プール、更衣室、待合ロビー、観覧ロビー、 会議室) 2階 572.920 m <sup>2</sup> (観覧ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、 空調機械室、電気室) 地下1階 304.577 m <sup>2</sup> (濾過機械室、機械監視室) 合計 3,643.751 m <sup>2</sup>
施設設備	プール室：競泳プール（(財)日本水泳連盟公認25m、8コース） 流水プール（周回距離44.9m） 幼児・低学年プール ウォータースライダー（滑走路全長101.04m） ジャグジー（2基）、寝湯（3人用）、採暖室、 観覧席（119席） ロッカー室：ロッカー数550 (男264人分、女270人分、多目的16人分)

利用時間

	区分	時間	期間
平日	春	10:00～21:00	4月1日～4月30日
	夏	10:00～21:00	5月1日～9月30日
	真夏	9:00～21:00	7月25日～8月25日
	冬	10:00～20:00	10月1日～3月31日
土日祝日	通年	10:00～19:00	4月1日～3月31日
	真夏	9:00～20:00	7月25日～8月25日

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、整備日（2月1日～2月15日）

## (2) 沿 革

新千歳空港 24 時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成 8 年度実施設計を開始し、9 年 4 月着工、10 年 5 月竣工、開設準備を経て平成 10 年 7 月 20 日から供用を開始した。

施設は、(財)日本水泳連盟公認 25m 競泳プール 8 コースと、101.04m ウォータースライダーや周回 44.9m 流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えている。

## (3) 運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努める。

## (4) 利用状況(20 年度)

(単位：人)

区分		延利用者数
一般利用	未就学児	3,237
	小・中学生	16,421
	高校生	538
	一般	17,853
	65 歳以上	6,254
	障がい者	7,038
	小計	51,341
講習会	未就学児	7,016
	小・中学生	15,136
	一般	2,441
	小計	24,593
その他の事業		174
専用利用		586
		76,694



千歳市温水プール

## 2 千歳市スポーツセンター

### (1) 施設の概要

所在地	千歳市真町 176 番地の 2	電話 22 - 1111	
開設年月日	昭和 53 年 7 月 1 日		
規模	建築構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 2 階		
面積	敷地面積	20,699.99 m <sup>2</sup>	
	建築面積	3,371.57 m <sup>2</sup>	
	延床面積	1 階 3,169.83 m <sup>2</sup>	
		中 2 階 237.84 m <sup>2</sup>	
	2 階 1,667.34 m <sup>2</sup>	合計 5,075.01 m <sup>2</sup>	
収容人員	2階固定席 890席、1階移動席 1,500席、立見席 500席		
主要施設	アリーナ	1,680m <sup>2</sup> (42m×40m)	
		バスケットボール (2面)、バレーボール (3面)、バドミントン (8面)、テニス (2面)、卓球 (35台)、体操器具一式、柔道・剣道、体力テスト	
	第2 体育館	432m <sup>2</sup> (16m×27m)	
		バレーボール (1面)、バドミントン (3面)、卓球 (6台)、柔道・剣道	
	トレーニング室	149.39m <sup>2</sup>	ランニングマシン他20種31台
	幼児室	91.65m <sup>2</sup>	

### (2) 沿革

昭和 45 年 6 月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基 90 周年・市制施行 10 周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定された。50 年実施設計、51 年 7 月の着工以来 2 年の工事を経て 53 年 3 月 31 日に竣工、同年 7 月 1 日に供用を開始した。

### (3) 運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努める。

### (4) 利用案内、利用状況

- ① 開館時間 午前 9:00～12:00  
午後 13:00～17:00  
夜間 18:00～21:00
- ② 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終金曜日の午前、年末年始



千歳市スポーツセンター

### ③ 利用状況（平成20年度）（単位：人）

区 分			延利用者数
個人	アリーナ 及び 第2 体育館	当日券	12,290
		定期券	14,299
		小 計	26,589
	トレーニング	当日券	6
		定期券	1,106
		小 計	1,112
そ の 他		1,912	
計		36,202	
団体	ス ポ ー ツ	51,079	
	そ の 他	6,380	
	会 議	5,206	
計		62,665	
総 計		98,867	

### 3 千歳市開基記念総合武道館

#### (1) 施設の概要

所在地	千歳市あずさ1丁目3番1号	電話	22 - 2100
開設年月日	平成5年6月1日		
規模	建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上2階	
主要室	面積	敷地面積	28,037.47㎡
		建築面積	6,567.2362㎡
		延床面積	7,298.6413㎡
	アリーナ	1,553㎡	剣道6面 柔道4面（公式） バレーボール3面（6人制） バドミントン10面
	剣道場	450㎡	剣道2面
	柔道場	450㎡	柔道2面
	弓道場	463㎡	近的28㎡×6人立
	トレーニング室	179㎡	ランニングマシン15種25台
	会議室	114.3㎡	
	観覧席	279㎡	固定席約500席

#### (2) 利用案内、利用状況

- ① 開館時間 午前 9:00～12:00  
午後 13:00～17:00  
夜間 18:00～21:00
- ② 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終金曜日の午前、年末年始
- ③ 利用状況（平成20年度）（単位：人）

区分			延利用者数
個人	アリーナ 及び 武道場	当日券	小中高 16,499 一般 16,098
		定期券	小中高 6,288 一般 11,761
	小計		50,646
	トレーニング	当日券	4,049
		定期券	6,833
		小計	10,882
	その他		1,149
計		62,677	
団体	スポーツ 会議	61,122 6,115	
	計	67,237	
総計			129,914



千歳市開基記念総合武道館

#### 4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年 9:00～21:00 休館：月の第2,4月曜、月の最終金曜午前、年末年始	鉄骨造平屋建 1,014㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月～10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野 球	千歳市民球場	泉沢868番地の22(青葉公園内)	4月～10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁～バックネット周19m
	青葉球場	真町2196番地の1(青葉公園内)		面積21,000㎡、両翼94.4m、センター111.369m、本塁～バックネット周20m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡、両翼83m、センター92m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフト ボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月～10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
ラグビー・ サッカー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月～10月	面積15,000㎡、サッカー兼用(2面)
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡、ラグビー兼用(1面)
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月～11月	面積33,000㎡
庭 球 場	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月～10月	面積11,543㎡、人工芝、硬式7面、軟式4面
	上長都公園庭球場	上長都1051番地の19		面積1,404㎡、全天候型2面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくぶ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積300㎡、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明4面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積300㎡、人工芝1面
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
水泳プール	青葉水泳プール	真町 176 番地の 3	6 月下旬～ 9 月上旬 10:00～17:00	コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×10.7m、5 コース深度 1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄 1 丁目 10 番 3 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出 2 丁目 3 番 6 号		コンクリートDNシート張(上屋付) 25m×13m、7 コース 深度 1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘 2 丁目 6 番 3 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7 コース、深度 1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘 824 番地の 30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3 コース、深度 0.9m～1.1m
	長都水泳プール	長都 42 番地の 1		ステンレス DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	北斗水泳プール	北斗 5 丁目 1 番 1 号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草 5 丁目 3 番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃 2 丁目 34 番 12 号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4 コース、深度 1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里 945 番地		F R P(上屋付) 25m×7.82m、3 コース深度 1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽 3 丁目 9 番 1 号		F R P(上屋付) 25m×10.2m、4 コース深度 1.1m～1.4m
スケート	青空公園スケート場	あずさ 1 丁目 1096 番地	12 月～2 月 9:00～20:00	面積 8,628 m <sup>2</sup> 、1 周 400m公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケート場	日の出小学校	1 月～2 月 8:30～16:00	1 周約 200m
	祝梅スケート場	祝梅小学校		
	高台スケート場	高台小学校		
	向陽台スケート場	向陽台小学校		
	信濃スケート場	信濃小学校		
	桜木スケート場	桜木小学校		
	北栄スケート場	北栄小学校		
	千歳スケート場	千歳小学校		
	緑スケート場	緑小学校		
	北陽スケート場	北陽小学校		
	千歳第二スケート場	千歳第二小学校		
	泉沢スケート場	泉沢小学校		
支笏湖スケート場	支笏湖小学校	1 周約 140m		
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢 1017 番地の 7	12 月～3 月 9:00～17:00 ナイター期間中 9:00～21:00	面積 52,000 m <sup>2</sup> 、管理棟 175 m <sup>2</sup> 、標高差 48m、最大斜度 27 度、降滑長 250m キャリーエース 1 基
	歩くスキーコース	青葉公園	12 月～3 月	歩くスキークラシカルコース 3.2km、フリースタイルコース 7.2km、冬期間のウォーキングコース 3.2km

## Ⅷ 教育委員会会議

- 第1回 (H20. 1. 25) 議案：私立幼稚園設置の計画に対する意見について
- 第2回 (H20. 2. 20) 議案：特別支援学校等就学援助に関する条例の一部を改正する条例の制定についてほか
- 第3回 (H20. 2. 26) 議案：千歳市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてほか
- 第4回 (H20. 3. 11) 議案：校長及び教頭の異動内申について
- 第5回 (H20. 3. 25) 議案：千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定についてほか
- 第6回 (H20. 4. 17) 議案：千歳市温水プール条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてほか
- 第7回 (H20. 5. 12) 議案：学校評議委員の委嘱についてほか
- 第8回 (H20. 5. 30) 議案：平成20年千歳市議会第2回定例会教育行政報告についてほか
- 第9回 (H20. 6. 23) 議案：※報告事項等のみ
- 第10回 (H20. 8. 7) 議案：平成21年度使用小学校教科用図書の採択についてほか
- 第11回 (H20. 9. 16) 議案：平成20年千歳市議会第3回定例会教育行政報告について
- 第12回 (H20. 10. 1) 議案：委員長の選挙についてほか
- 第13回 (H20. 11. 27) 議案：平成20年千歳市議会第4回定例会教育行政報告についてほか
- 第14回 (H20. 12. 19) 議案：千歳市民活動センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてほか



平成 21 年 6 月 24 日に千歳市の姉妹都市アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市にあるサンドレイク小学校の児童が、姉妹校である千歳小学校を訪問し歓迎集会在催されました。

歓迎集会では、サンドレイク小学校の児童が日本語で自己紹介をしたり、千歳小学校の児童が歌や踊りを披露しました。

また、北海道に滞在中に札幌時計台・JRタワー見学など日本の観光文化に触れる機会や、給食体験や習字体験などの食文化や教育文化に触れる機会を通して国際感覚を養いました。

平成 21 年は、千歳市とアンカレジ市の姉妹都市提携 40 周年を迎えるため、山口市長を団長とした公式訪問団による「アンカレジ訪問 友好交流の旅」が企画されており、現地において両者の若者による環境問題と国際交流について議論を行う「姉妹都市子どもサミット」が開催される予定です。

---

**千歳市の教育 2009**  
**(平成 21 年度)**

平成 21 年 6 月発行

発行・編集 千歳市教育委員会

---